

令和 6 年度
消防防災年報

福 井 県
＜令和 7 年刊行＞

目 次

〔消 防 編〕

第1章 消防の概要

第1表 福井県常備消防体制	1
第2表 消防の概況表	2

第2章 火災の実態

1 概況	4
2 出火件数および損害額の状況	4
3 出火原因	4
4 火災による死者の状況	5
第1表 1日当たりの損害状況	5
第2表 令和6年火災発生状況と前年比較表	6
第1図 過去10年間の出火件数と損害額の推移	7
第2図 過去10年間の死傷者数等の推移	7
第3図 火災発生件数の内訳	8
第4図 うち建物火災用途別内訳	8
第5図 損害額の内訳	8
第3表 令和6年月別火災発生状況表	9
第4表 市町別火災発生状況表	10
第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率	11
第6表 全火災の出火原因別損害状況表	12
第6図 全火災の出火原因別状況	12
第7表 死者の死因別発生状況表	13
第8表 死者の経過別および年齢別発生状況表	13

第3章 救急業務の実態

1 救急体制	14
2 救急医療体制	14
3 救急活動状況	14
第1表 救急体制状況表	15
第2表 医療機関状況表	15
第3表 救急活動状況表	15
第4表 高速自動車道における救急活動状況表	15
第1図 過去10年間の救急活動の推移	16
第2図 出場件数の事故種別内訳	16
第3図 搬送人員の事故種別内訳	16

第4章 予防行政の概況

1 防火対象物定期点検報告制度	17
第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表	17
2 消防設備士試験および講習の状況	18
第2表 消防設備士試験実施状況表	18
第3表 消防設備士法定講習実施状況表	18

第5章 危険物規制

1 概況	19
第1図 危険物施設構成比	19
第2図 過去10年間の危険物施設の推移	19
第1表 施設別危険物施設数	20
第2表 指定数量別および類別危険物施設数	21

第3表	危険物施設に対する立入検査状況	22
第4表の1	容量別屋外タンク貯蔵所数	23
第4表の2	品名別屋外タンク貯蔵所数	23
第5表	危険物取扱者試験実施状況	24
第6表	危険物取扱者保安講習実施状況	24
2	危険物施設の火災および漏えい事故等	25
第7表	過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数	25

第6章 消防の概要

1	消防の組織	26
2	消防施設	26
3	民間防火組織	26
4	表彰	27
5	消防の現況	27
第1表	消防職団員数の推移	27
第2表	消防機関の現況	27
第3表	消防の概況	28
第4表	階級別消防職員数	29
第5表	階級別非常勤消防団員数	30
第6表	年齢別消防吏員および消防団員数	31
第7表	在職年数別消防吏員および消防団員数	32
第8表	消防ポンプ自動車等現有数（消防本部および署）	33
第9表	消防ポンプ自動車等現有数（消防団）	34
第10表	化学消火薬剤備蓄状況	35
第11表	消防水利の状況	36
第12表	消防機関の出動状況	37
第13表	消防吏員および団員の公務による死傷者数	37
第14表	火災通報施設等の現況	38
第15表	無線通信施設等の現況	39
第16表	幼年消防クラブの現況	40
第17表	少年消防クラブの現況	41
第18表	女性防火クラブの現況および活動状況	42
第19表	消防表彰受賞状況	43

第7章 消防教育訓練

1	消防学校の概要	44
2	教育訓練	44
第1表	令和6年度消防本部別受講者数	45
第2表	令和6年度消防学校教育訓練実施状況	46
第3表	令和6年度消防大学校派遣者数	46

〔防災編〕

第1章 災害の発生状況

1	令和6年中の災害発生状況	47
第1表	令和6年中の災害発生状況	47
2	過去5年間の災害発生状況	48

第2章 令和6年の天候概況

1	天候の特徴	57
2	月別気象概況	58

第3章 防災訓練の実施状況

I	総合防災訓練	6 2
II	原子力防災訓練	6 8
III	過去5年間の総合防災訓練等の実施状況	7 4
IV	市町別自主防災組織の結成状況	7 5

第4章 防災行政無線利用状況

1	無線局の現況	7 6
2	利用状況	7 8
3	多重局通信回数集計表	8 0
4	端末局無線通信回数調	8 1
5	非常通信訓練実施状況	8 2

第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1	運航基地	8 4
2	組織図	8 4
3	運航時間	8 4
4	活動業務	8 4
	第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）	8 5

〔保安編〕

第1章 高压ガス保安

概況	8 6
第1表 市町別高压ガス関係事業所数	8 7
第2表 令和6年度高压ガス保安法申請等状況	8 8
第3表 令和6年度液化石油ガス法申請等状況	8 8
第4表 令和6年度高压ガス製造保安責任者試験実施状況	8 9
第5表 令和6年度高压ガス販売主任者試験実施状況	9 0
第6表 令和6年度液化石油ガス設備士試験実施状況	9 0
第7表 令和6年度高压ガス関係免状交付状況	9 0
第8表 令和6年度液化石油ガス関係免状交付状況	9 1
第9表 令和6年度高压ガス事故発生状況	9 1
第10表 令和6年度液化石油ガス事故発生状況	9 2

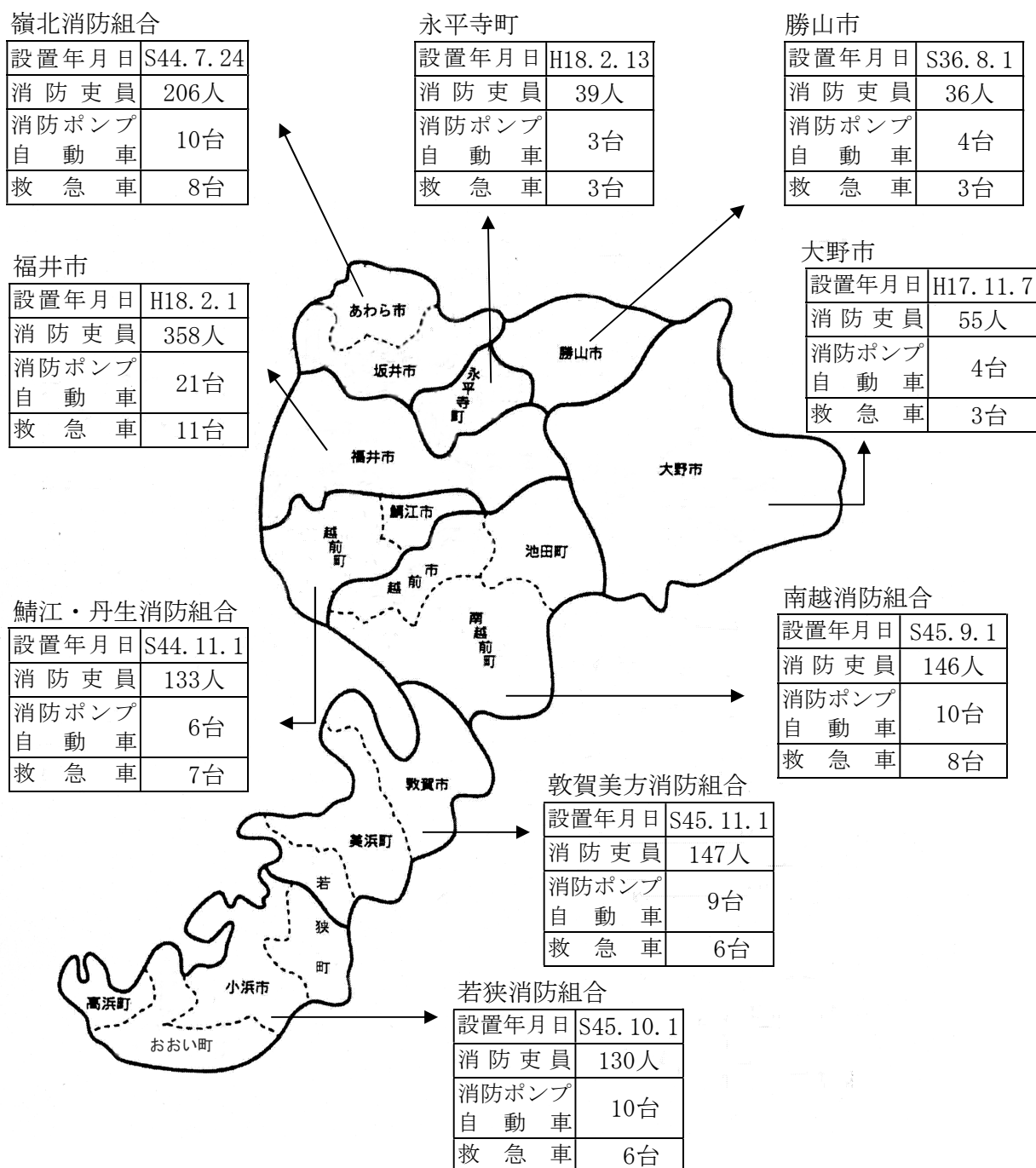
第2章 火薬類保安

概況	9 3
第1表 火薬類関係事業所数	9 3
第2表 銃砲関係事業所数	9 4
第3表 火薬類（爆薬）の消費量の推移	9 4
第4表 火薬類取扱および丙種火薬類製造保安責任者試験実施状況	9 4
第5表 令和6年度火薬類保安講習関係講習会実施状況	9 4
第6表 令和6年度火薬類許可申請等の状況	9 5
第7表 令和6年度事故発生状況	9 6

消 防 編

第1章 消 防 の 概 要

第1表 福井県常備消防体制(令和7年4月1日現在)



※台数については、消防団分を含まない

第2表 消防の概況表

面積（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和7年4月1日現在）		4,190.59	km ²
令和2年国勢調査(確定値) 人口		766,863	人
推計人口(令和7年4月1日現在)		734,119	人
推計世帯数(令和7年4月1日現在)		299,571	世帯
65歳以上高齢者数(福井県の推計人口 令和6年10月1日現在)		232,132	人
高齢化率（ 〃 ）		31.4%	%
地域別人口	福井坂井地区（令和2年国勢調査 確定値）	397,298	人
	奥越地区	53,436	人
	丹南地区	181,456	人
	嶺南地区	134,673	人
令和6年火災状況	火災件数		159 件
	うち	建物火災件数	94 件
		林野火災件数	3 件
	建物焼損面積(床)		4,621 m ²
	林野焼損面積		126 a
	損害額		375,345 千円
	うち	建物火災	251,253 千円
	死者(自殺者数内数)		10 人
	負傷者		21 人
	出火率(人口1万人に対する出火件数) ※人口:令和6年1月1日現在		2.14 件
令和6年救急状況	救急出場件数		34,322 件
	うち	急病	22,320 件
		交通事故	2,058 件
		一般負傷	5,667 件
	搬送人員		31,846 人
消防本部・署所	消防本部	単独設置市	3
		単独設置町	1
		消防一部事務組合	5
	消防署数		19
	出張所数		26
	消防職員	消防吏員	1,250 人
		その他の職員	26 人
		合計	1,276 人
消防団	消防団数		18
	分団数		236
	消防団員	非常勤団員数	5,806 人
		常勤団員数	－
		合計	5,806 人

消防車両等	区 分		消防本部・署所		消 防 団		
	普通消防ポンプ自動車		54	台	123	台	
	水槽付消防ポンプ自動車		23	台	4	—	
	はしご付消防ポンプ自動車		8	台		—	
	屈折はしご付消防ポンプ自動車		3	台		—	
	大型高所放水車		1	台		—	
	泡原液搬送車		2	台		—	
	化学消防自動車		14	台		—	
	指揮車		20	台		—	
	小型動力ポンプ付積載車		4	台	192	台	
	小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)		25	台	67	台	
	広報車		26	台		—	
	資機材搬送車		29	台		—	
	屈折放水塔車		1	台		—	
	救急自動車		57	台		—	
	救助工作車		13	台		—	
	その他の車両		37	台		—	
	消防水利	消火栓		公 設		18,987	個
私 設				98	個		
防火水槽		100m³以上		123	基		
		60m³以上 100m³未満		124	基		
		40m³以上 60m³未満		5,024	基		
		20m³以上 40m³未満		457	基		
井戸		公 設		79	個		
		私 設			—		
そ の 他					522	個	
通信施設等	消防用無線		基地局および固定局		66	局	
			移動局		1,128	局	
	防災行政無線		市町	同報無線	同報親局	24	局
				同報受信設備	47,425	局	
			移動無線	基地局	5	局	
				移動局	455	局	
			県	固定系	地上系	28	局
					衛星系	68	局
				移動系	基地局等	18	局
					移動局等	221	局
	テレビ監視装置					2	基
	火災報知専用電話					97	回線
	消防電話					225	回線

第2章 火 災 の 実 態

1 概 況

令和6年度中の火災発生件数は158件、死者10人、負傷者21人、損害額3億2,564万円、焼損棟数138棟、り災世帯数69世帯、り災人員153人となっており、一日当たりの損害状況は第1表のとおりで、概ね毎日892万円が灰じんに帰していることになる。

火災発生件数、損害額および死傷者数の過去10年間の推移は、第1図、第2図のとおりであり、火災発生件数においては、平成30年中が最も多く、令和3年中が最も少ない。

2 出火件数および損害額の状況

(1) 出火件数

総出火件数は158件で、これを火災種別ごとにみると、第3図のように建物火災が94件で全体の56.3%を占め、車両火災28件(17.7%)、林野火災4件(1.9%)、船舶火災2件(1.27%)、その他火災32件(20.3%)となっている。

また、建物火災だけでみると、第4図のように一般住宅が44件(46.0%)で最も多く、次いで工場13件(14.0%)、事務所等9件(10.0%)、共同住宅6件(6.0%)、倉庫、飲食店それぞれ4件(4.0%)、特定複合用途施設3件(3.0%)となっている。

第3表の月別火災発生状況表を見ると、出火件数の多い月は3月と6月の17件で、少ない月が9月と10月の9件となっている。

第4表では、市町別の火災発生状況を示している。

(2) 損害額

損害額は3億2,564万円で、これを火災種別ごとにみると、第5図のように建物火災が2億4,785万円で全体の76.0%を占め、次いで車両6,104万円(61.0%)となっている。火災1件当たりの損害額は約206万円となる。

第3表の月別火災発生状況表をみると、5月の損害額が約6,146万円で最も多く、9月が約2万円で最も少ない。

3 出火原因

全火災の出火原因別状況を表したのが第6図であり、出火原因別損害状況を表したのが第6表である。

第6図をみると、出火原因ではストーブが最も多く、次いで、こんろ10件、たき火8件、電気機器7件などとなっている。

4 火災による死者の状況

死者の死因別発生状況を表したのが第7表であり、死者の経過別、年齢別発生状況を表したのが第8表である。

第7表をみると、死因では、一酸化炭素中毒・窒息が6人、火傷が2人となっている。

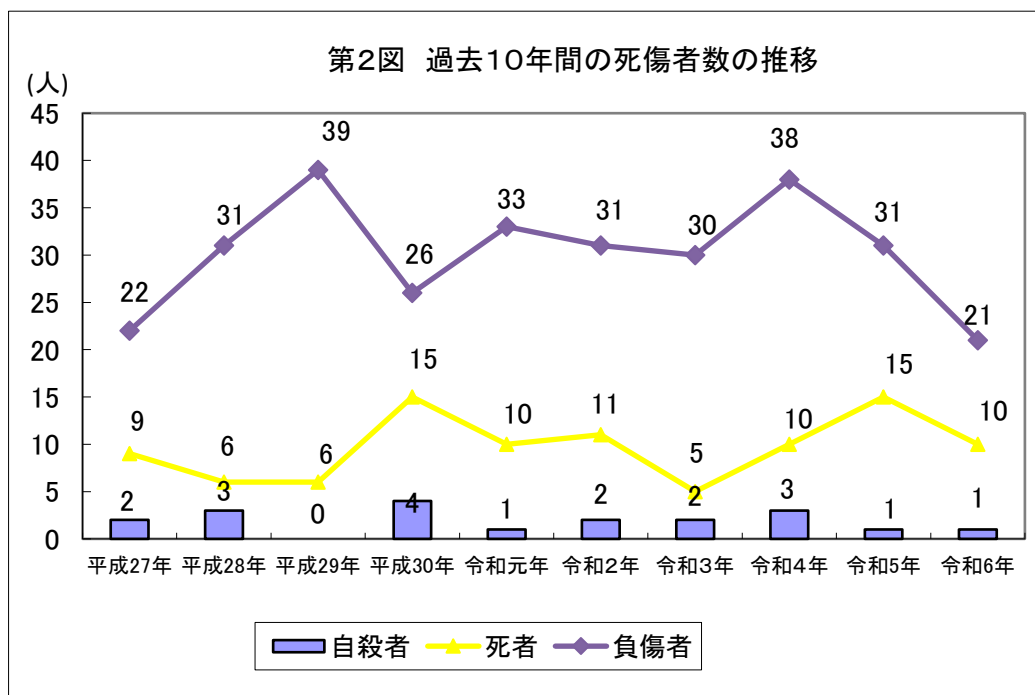
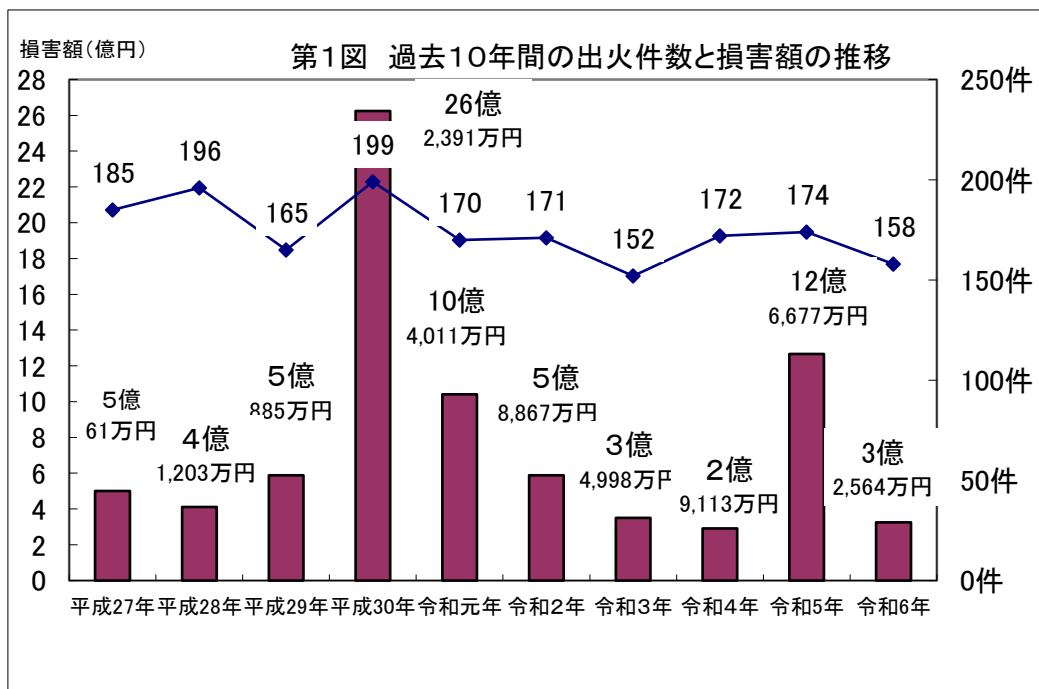
また、令和6年中の死者に占める65歳以上の高齢者は6人で全体の約6割となった。

第1表 1日当たりの損害状況

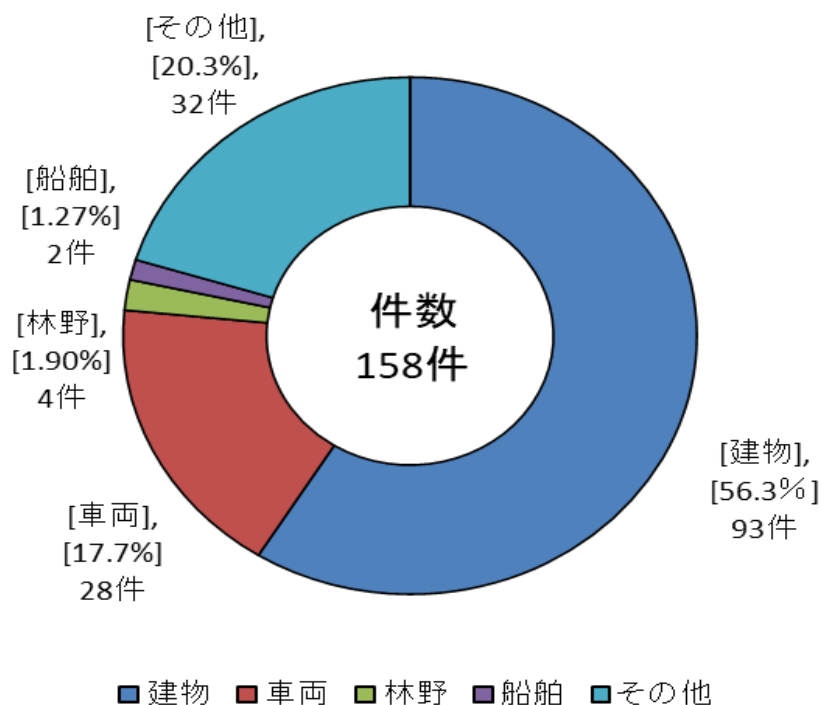
区 分	単位	令和6年 (A)	令和5年 (B)	対前年増加数 (A)－(B)
出 火 件 数	件	0.43	0.48	△ 0.05
損 害 額	万円	892	347	545.00
焼 損 棟 数	棟	0.38	0.48	△ 0.10
り災世帯数	世帯	0.19	0.24	△ 0.05
り 災 人 員	人	0.42	0.54	△ 0.12

第2表 令和6年火災発生状況と前年比較表

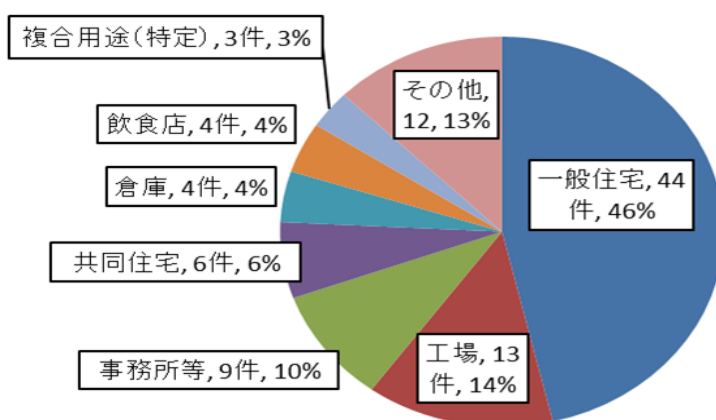
区 分	令和6年(A)	令和5年(B)	対前年増加数 (A)－(B)＝(C)
総 出 火 件 数	158	174	△ 16
建 物	93	98	△ 5
林 野	3	4	△ 1
車 両	28	23	5
船 舶	0	0	0
そ の 他	32	49	△ 17
焼 損 棟 数 (棟)	138	176	△ 38
全 焼	28	51	△ 23
半 焼	11	16	△ 5
部 分 焼	44	58	△ 14
ぼ や	55	51	4
り 災 世 帯 数 (世 帯)	69	86	△ 17
全 損	15	26	△ 11
半 損	6	16	△ 10
小 損	48	44	4
り 災 人 員 (人)	153	198	△ 45
建 物 焼 損 面 積 (m ²)	4,372	17,335	△ 12,963
林 野 焼 損 面 積 (a)	126	14	112
損 害 額 合 計 (千 円)	325,637	1,266,774	△ 941,137
建 物	247,853	1,199,973	△ 952,120
林 野	136	69	67
車 両	61,047	10,863	50,184
船 舶	1,633	0	1,633
そ の 他	14,492	54,147	△ 39,655
爆 発	476	1,722	△ 1,246
死 者 (人)	10	15	△ 5
() は 放 火 自 殺 者 内 数	(1)	(1)	0
建 物	9	14	△ 5
			0
林 野	0	0	0
車 両	1	0	1
			0
船 舶	0	0	0
そ の 他	0	1	△ 1
			0
負 傷 者 (人)	21	31	△ 10
建 物	19	24	△ 5
林 野	0	1	△ 1
車 両	0	4	△ 4
船 舶	0	0	0
そ の 他	2	2	0
出 火 率 (人口1万人に対する出火件数)	2.12	2.33	



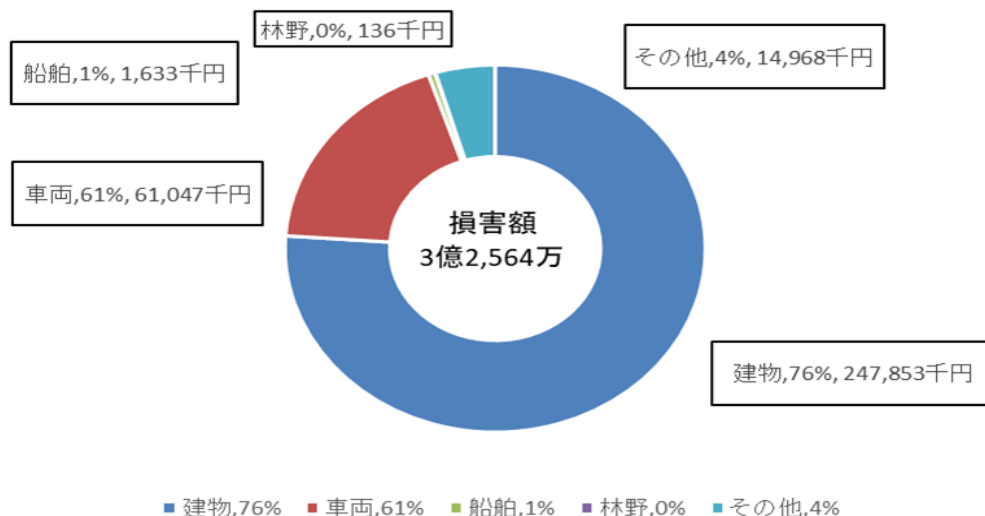
第3図 火災発生件数の内訳



第4図 建物火災用途別内訳



第5図 損害額の内訳



第3表 令和6年月別火災発生状況表

月	出火件数(件)						焼損棟数(棟)					焼損面積		り災世帯数(世帯)				り 災 人 員 (人)	死 () 内は放火自殺者		負 傷 者 (人)	損害額(千円)						
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	建 物 (㎡)	林 野 (a)	合 計	全 損	半 損	小 損		者 (人)	者 (人)		合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発
1	14	11	0	2	0	1	19	6	1	4	8	918	0	4	2	0	2	11	1	0	4	48,839	35,018	0	8,276	0	5,545	0
2	15	10	0	2	0	3	19	4	1	5	9	1,011	0	12	2	1	9	23	0	0	1	26,910	23,960	0	125	0	2,825	0
3	17	10	0	5	0	2	12	1	1	5	5	481	0	8	1	1	6	28	2	0	3	25,432	23,290	0	2,139	0	3	0
4	16	10	0	3	0	3	14	2	2	4	6	301	0	8	3	1	4	11	5	0	3	37,930	35,320	0	2,605	0	5	0
5	13	8	2	0	0	3	11	4	0	3	4	582	120	4	2	0	2	10	0	0	3	61,463	61,458	0	0	0	5	0
6	17	8	1	2	1	5	11	3	1	4	3	291	6	2	1	0	1	4	1	1	2	19,089	5,839	136	11,395	1,628	91	0
7	10	5	0	3	0	2	5	0	0	2	3	11	0	2	0	0	2	6	0	0	2	3,812	2,787	0	461	0	88	476
8	12	3	0	4	0	5	3	1	0	0	2	97	0	0	0	0	0	0	0	0	1	35,660	9,288	0	26,365	0	7	0
9	9	3	0	3	0	3	3	0	0	0	3	0	0	2	0	0	2	7	0	0	0	8,818	24	0	6,916	0	1,878	0
10	9	7	0	1	0	1	12	1	3	1	7	123	0	2	0	0	2	2	0	0	0	2,542	1,897	0	645	0	0	0
11	14	9	0	3	1	1	18	4	0	11	3	652	0	19	3	2	14	37	0	0	2	35,401	33,247	0	2,120	5	29	0
12	12	9	0	0	0	3	11	2	2	5	2	317	0	6	1	1	4	14	1	0	0	19,741	15,725	0	0	0	4,016	0
計	158	93	3	28	2	32	138	28	11	44	55	4,784	126	69	15	6	48	153	10	1	21	325,637	247,853	136	61,047	1,633	14,492	476

第4表 市町別火災発生状況表

期間:令和6年1月1日～令和6年12月31日

区分	出 火 件 数 (件)							焼 損 棟 数 (棟)					り災世帯数(世帯)				り 災 人 員 (人)	死傷者数(人)			焼 損 面 積			損 害 額(千円)						
	計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	全 損	半 損	小 損		死 者	負 傷 者	建 物 床 (㎡)	建 物 表 (㎡)	林 野 (a)	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発	
福 井 市	35	27	0	6	0	0	2	46	11	2	20	13	33	8	0	25	71	5	7	1694	312	0	96,205	91655	0	4520	0	30	0	
敦 賀 市	22	9	0	7	1	0	5	11	1	1	5	4	4	0	3	1	11	1	0	137	20	0	37,718	17352	0	20340	5	21	0	
小 浜 市	3	1	0	0	0	0	2	3	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	11	12	0	4,066	71	0	0	0	3995	0	
大 野 市	5	5	0	0	0	0	0	10	5	3	2	0	2	2	0	0	5	1	1	714	0	0	4,351	4351	0	0	0	0	0	
勝 山 市	8	6	0	2	0	0	0	7	0	0	2	5	4	1	1	2	7	1	2	0	4	0	3,326	3133	0	193	0	0	0	
鯖 江 市	19	12	0	3	0	0	4	12	2	1	3	6	6	1	1	4	12	0	3	772	4	0	32,097	28406	0	346	0	2869	476	
あ わ ら 市	8	5	0	2	0	0	1	6	0	1	1	4	2	0	1	1	6	0	1	78	2	0	2,044	1639	0	405	0	0	0	
越 前 市	13	9	1	0	0	0	3	12	2	0	4	6	7	1	0	6	13	1	1	288	15	6	13,148	7264	136	89	0	5659	0	
坂 井 市	15	9	0	1	1	0	4	12	0	2	3	7	6	0	0	6	19	0	1	18	25	0	3,388	663	0	1044	1628	53	0	
市 計	128	83	1	21	2	0	21	119	22	10	40	47	64	13	6	45	144	9	16	3,712	394	6	196,343	154,534	136	26,937	1,633	12,627	476	
永 平 寺 町	5	1	1	2	0	0	1	4	4	0	0	0	2	2	0	0	4	1	3	529	0	100	57,926	57762	0	162	0	2	0	
池 田 町	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南 越 前 町	3	1	0	2	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	64	14	0	31,737	1163	0	30574	0	0	0	
越 前 町	6	3	0	0	0	0	3	8	1	1	1	5	2	0	0	2	4	0	1	23	3	0	1,384	1380	0	0	0	4	0	
美 浜 町	3	2	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	3	1	0	263	263	0	0	0	0	0	
高 浜 町	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	
お お い 町	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	2,270	0	0	414	0	1,856	0	
若 狭 町	8	2	0	2	0	0	4	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	41	0	0	9,053	6,093	0	2,960	0	0	0	
(内訳)																														
旧三方町 敦賀美方消防管轄	3	2	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	41	0	0	6,093	6,093	0	0	0	0	0	
旧上中町 若狭消防管轄	5	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,960	0	0	2,960	0	0	0	
町 計	30	10	2	7	0	0	11	19	6	1	4	8	5	2	0	3	9	1	5	660	18	120	102,636	66,661	0	34,110	0	1,865	0	
県 計	158	93	3	28	2	0	32	138	28	11	44	55	69	15	6	48	153	10	21	4,372	412	126	298,979	221,195	136	61,047	1,633	14,492	476	

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載

第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率

期間：令和6年1月1日～令和6年12月31日

区 分	総計		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		出火率 (人口 1万人に 対する 出火件数)
	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	
福井市	35	105,869	4	31319	4	2455	4	15546	1	26054	1	78	3	1165	2	2	3	1898	2	42	2	154	5	24581	4	2575	1.39
敦賀市	22	40,092	3	8838	4	8826	1	27	1	0	0	0	4	6537	3	1099	1	5	1	6461	0	0	3	8278	1	21	3.55
小浜市	4	50,753	0	0	1	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	50679	1.46
大野市	5	6,788	1	2329	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1566	0	0	0	0	0	0	1	735	1	712	1	1446	1.69
勝山市	8	3,486	2	50	0	0	2	70	1	3227	1	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	123	1	0	3.83
鯖江市	19	35,139	1	146	2	13054	2	122	2	158	1	536	1	146	2	564	4	9024	1	4	1	0	0	0	2	11385	2.79
あわら市	8	2,678	0	0	2	100	2	1896	1	256	0	0	0	0	1	305	0	0	0	0	1	0	1	121	0	0	3.06
越前市	13	15,255	2	5634	2	2401	1	85	2	4358	0	0	1	178	1	1500	1	0	1	22	1	2	1	1075	0	0	0.16
坂井市	15	4,385	1	523	0	0	2	1122	1	202	3	488	4	1689	1	342	1	0	2	19	0	0	0	0	0	0	1.70
市 計	129	264,445	14	48,839	15	26,910	14	18,868	9	34,255	6	1,118	14	11,281	10	3,812	10	10,927	7	6,548	6	891	13	34,890	11	66,106	0.94
永平寺町	5	60,398	0	0	0	0	1	30	2	134	2	60,234	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.85
池田町	1	1,201	0	0	0	0	0	0	1	1,201	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.60
南越前町	3	32,540	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7,808	0	0	1	24,732	0	0	0	0	0	0	0	0	3.20
越前町	6	1,533	0	0	0	0	0	0	2	15	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1,006	1	511	0	0	3.06
美浜町	3	329	0	0	0	0	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	319	3.48
高浜町	2	3	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2.11
おおい町	2	2,270	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2,270	0	0	0	0	0	0	2.62
若狭町 (内訳)	8	9,602	0	0	0	0	1	6,531	1	2,315	4	111	0	0	0	0	0	0	1	0	1	645	0	0	0	0	6.04
旧三方町 <small>敦賀美方消防管轄</small>	3	6,642	0	0	0	0	1	6,531	0	0	2	111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
旧上中町 <small>若狭消防管轄</small>	5	2,960	0	0	0	0	0	0	1	2,315	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	645	0	0	0	0	
町 計	30	107,876	0	0	0	0	3	6,564	7	3,675	7	60,345	3	7,808	0	0	2	24,733	2	2,270	3	1,651	1	511	2	319	3.42
県 計	159	372,321	14	48,839	15	26,910	17	25,432	16	37,930	13	61,463	17	19,089	10	3,812	12	35,660	9	8,818	9	2,542	14	35,401	13	66,425	1.09

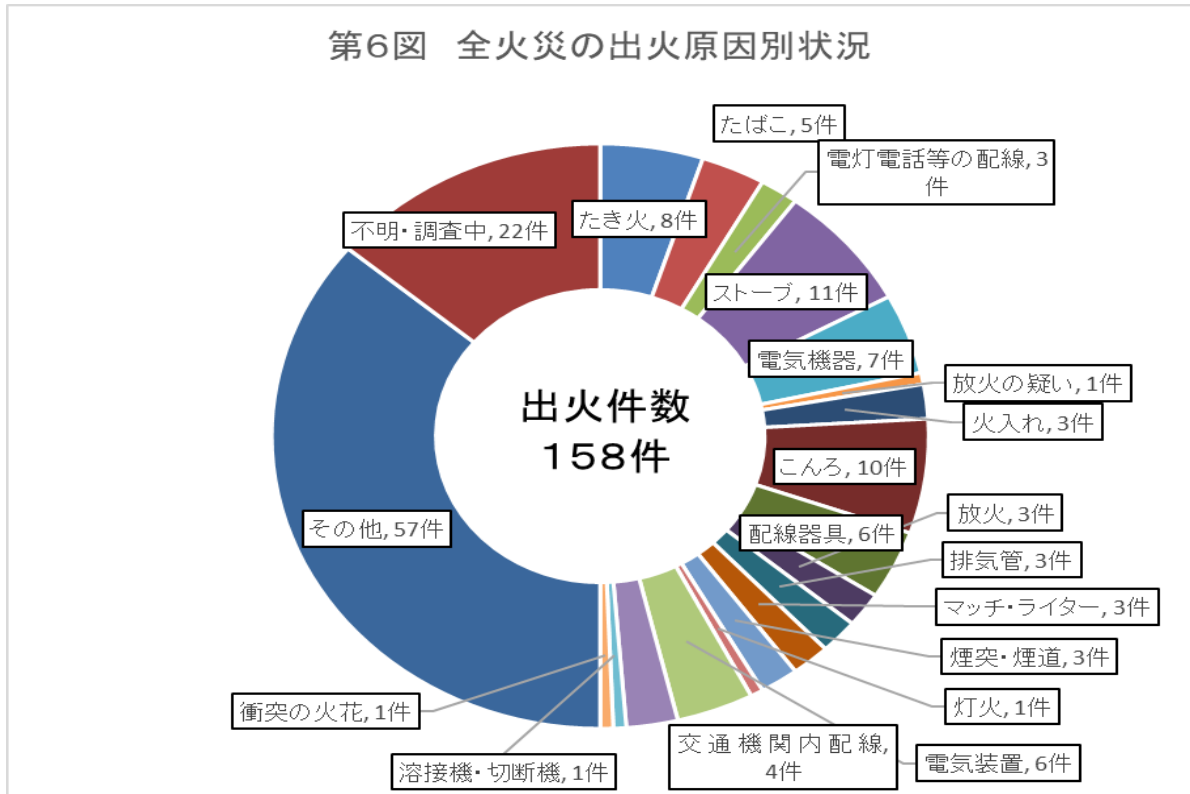
若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。
出火率(人口1万人に対する出火件数)は、令和6年3月31日現在の住民基本台帳人口により算定

第6表 全火災の出火原因別損害状況表

期間:令和6年1月1日～令和6年12月31日

出火原因	出火件数(件)	焼損床面積(㎡)	焼損棟数(棟)	り災世帯数(世帯)	損害額(千円)
た き 火	8	0	1	1	54
た ば こ	5	76	2	3	8904
電灯電話等の配線	3	1	3	0	11
ス ト ー ブ	11	1,579	17	11	60,954
電 気 機 器	7	345	8	14	16,953
放 火 の 疑 い	1	0	0	0	0
火 入 れ	3	2	1	0	27
こ ん ろ	10	147	10	6	16,198
配 線 器 具	6	109	7	4	10,557
放 火	3	105	6	4	2,208
排 気 管	3	0	1	0	698
マッチ・ライター	3	0	1	1	14
煙 突 ・ 煙 道	3	8	2	2	766
灯 火	1	140	5	4	2,425
電 気 装 置	6	0	3	0	3,882
交 通 機 関 内 配 線	4	0	0	0	1356
溶 接 機 ・ 切 断 機	1	0	0	0	0
衝 突 の 火 花	1	0	0	0	70
そ の 他	57	524	48	10	69,269
不 明 ・ 調 査 中	22	1,874	23	9	131,291

第6図 全火災の出火原因別状況



第7表 死者の死因別発生状況表

死因 火災種別	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折 等	自殺	その他	不明	合計(人)
建 物 火 災	6	1	0	1	0	1	9
林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	0	1	0	0	0	0	1
そ の 他 火 災	0	0	0	0	0	0	0
合 計 (人)	6	2	0	1	0	1	10

第8表 死者の経過別および年齢別発生状況表

年齢別(歳) 経過別	0 ～ 5	6 ～ 10	11 ～ 20	21 ～ 30	31 ～ 40	41 ～ 50	51 ～ 60	61 ～ 64	65 ～ 70	71 ～ 80	81～	不明	合計 (人)
熟睡等により発見遅れる							1				3		4
逃げる暇がなかった(その他)													0
延焼拡大が早く逃げ切れなかった							1						1
逃げ切れなかった(その他)											1		1
放火自殺				1									1
不明・調査中							1			1	1		3
合計(人)	0	0	0	1	0	0	3	0	0	1	5	0	10

第3章 救急業務の実態

1 救急体制

災害により生じた事故または屋外もしくは公衆の出入りする場所、あるいは屋内において生じた事故で、迅速に搬送する手段がない場合に傷病者を医療機関等へ搬送する業務が救急業務であるが、令和7年4月1日現在、第1表のとおり、救急自動車57台(全て高規格救急自動車)、救急隊50隊、救急隊員571名(うち救急救命士269名)で救急業務にあたっている。

2 救急医療体制

救急隊が搬送する傷病者を受け入れる救急告示医療機関数は、令和7年4月1日現在、第2表のとおり50施設である。

3 救急活動状況

救急活動状況を表したのが第3表であり、救急出場件数は34,322件、搬送人員は31,846人となっている。県内1日あたりの出場件数は約94件となり、約15分に1回の割合で救急隊が出場したことになる。

過去10年間の出場件数および搬送人員の推移を表したのが第1図である。令和2年には新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛等の影響で救急需要が大幅に減少したことから、出場件数と搬送人員ともに令和元年との比較で13%減少し、過去10年で最少となった。一方で、令和3年は、活動の制限が緩和されたことに伴って救急需要も増加し、令和2年との比較で、出場件数は10%、搬送人員は9%増加した。令和4年は令和3年との比較で、出場件数は12%、搬送人員は11%増加し、令和5年は令和4年との比較で、出場件数は7%、搬送人員は6%増加し、出場件数と搬送人員が過去10年で最多となった。令和6年は令和5年とほぼ横ばいの値となった。

出場件数、搬送人員の事故種別内訳を表したのが第2図、第3図であり、出場件数の事故種別内訳では、急病が22,320件で、全体の65.0%を占め、次いで一般負傷5,667件(16.5%)、交通事故2,058件(6.0%)などとなっている。搬送人員では急病が20,633人で全体の64.8%を占め、次いで一般負傷5,339人(16.8%)、交通事故2,085人(6.5%)などとなっている。

第1表 救急体制状況表

令和7年4月1日現在

消防本部名	救 急 自 動 車			救 急 隊 員						救 急 隊
	高規格 救急車	通常型	合 計	専 任	兼 任	合 計	救急救命士	救急救命士	救急救命士	合 計
福 井 市	11	0	11	54	41	27	23	81	64	9
大 野 市	4	0	4			41	16	41	16	4
勝 山 市	3	0	3			28	11	28	11	2
永 平 寺 町	3	0	3			34	14	34	14	2
嶺北消防組合	8	0	8			115	42	115	42	8
鯖江・丹生消防組合	7	0	7			98	40	98	40	6
南越消防組合	8	0	8			74	25	74	25	8
敦賀美方消防組合	6	0	6	17	15	20	13	37	28	5
若狭消防組合	7	0	7	8	7	55	22	63	29	6
合 計	57	0	57	79	63	492	206	571	269	50

第2表 医療機関状況表

令和7年4月1日現在

種 別 告示別	国・公立	公的	私 的		合 計
			病 院	診療所	
救急告示医療機関	8	4	28	10	50
その他の医療機関	17	5	18	406	446
合 計	25	9	46	416	496

第3表 救急活動状況表

(令和6年中)

	合 計	火 災	自 然 害	水 難	交 通	労 働 害	運 動 競	一 般 傷	加 害	自 行 損 為	急 病	その他
救 急 出 場 件 数	34,322	82	5	49	2,058	320	259	5,667	61	218	22,320	3,283
搬 送 人 員	31,846	20	5	17	2,085	314	257	5,339	52	135	20,633	2,989

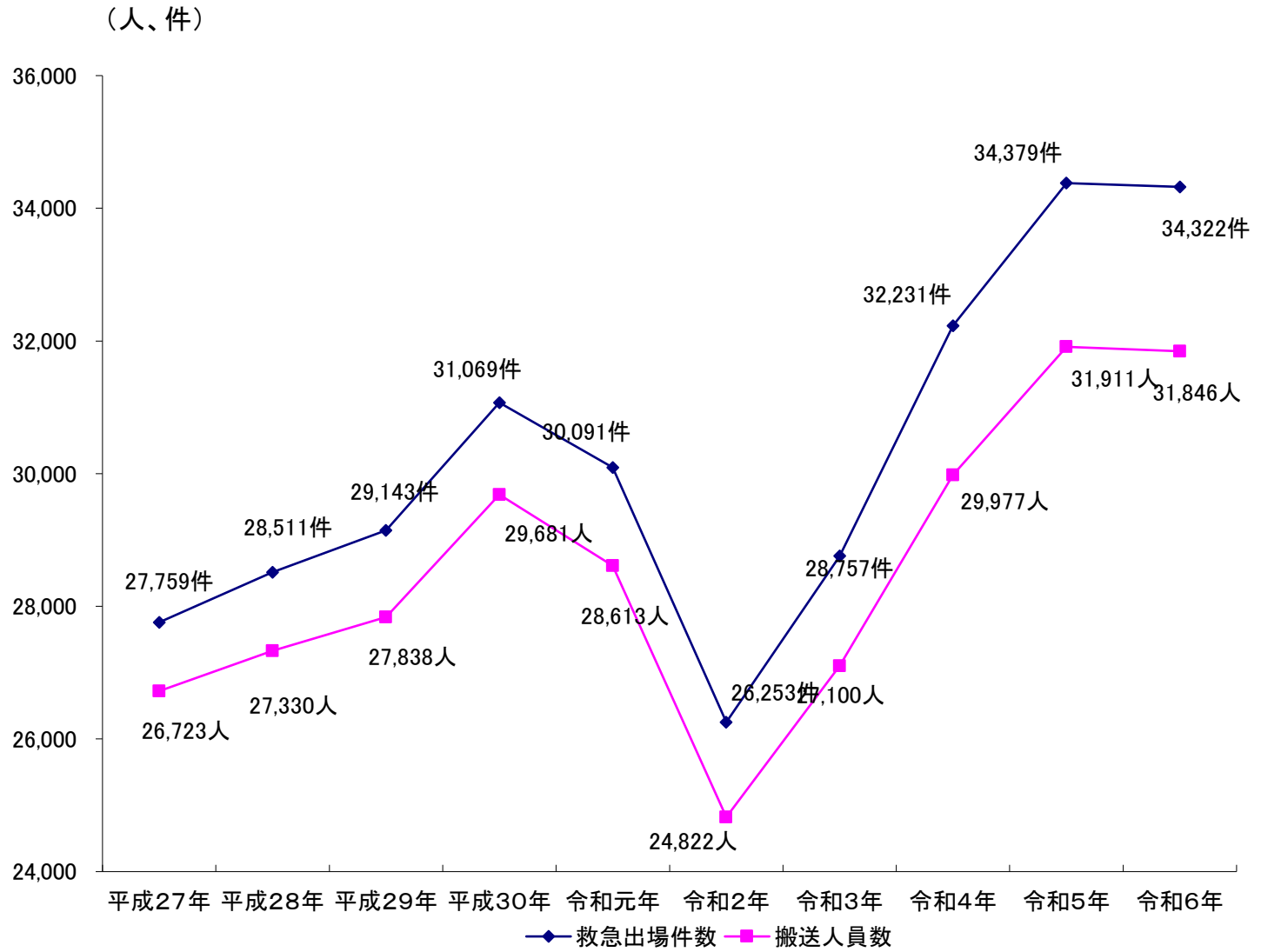
第4表 高速自動車道における救急活動状況表

(令和6年中)

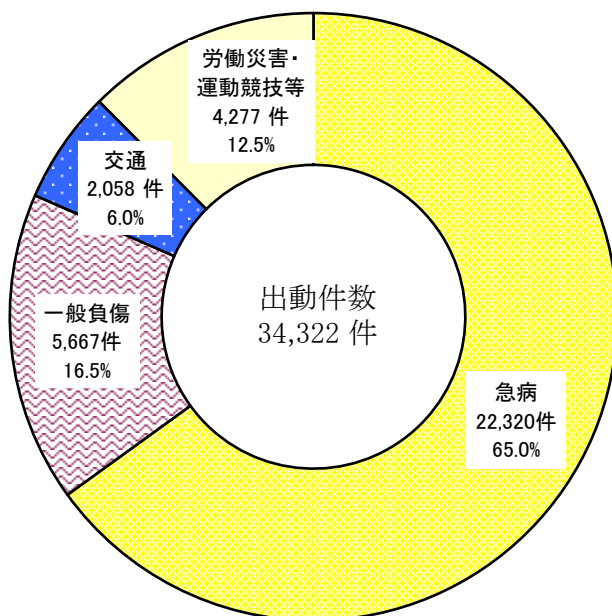
高 速 道 路 名	北 陸 自 動 車 道								小計	
担 当 消 防 本 部 名	嶺北消防組合 消防本部		福井市 消防局		鯖江・丹生消防 組合消防本部		南越消防組合 消防本部			敦賀美方消防 組合消防本部
I C 名	金 津	丸 岡	福井北	福 井	鯖 江	武 生	今 庄	敦 賀		
救 急 出 動 数	2	5	8	2	20	26	12	19	94	
搬 送 人 員	2	4	10	2	20	24	15	13	90	

高 速 道 路 名	舞鶴若狭自動車道									計	
担 当 消 防 本 部 名	敦賀美方消防組合 消防本部				若狭消防組合 消防本部						小計
I C 名	敦賀南	若狭美浜	若狭三方	三方五湖	三方五湖	若狭上中	小浜	小浜西	大飯高浜		
救 急 出 動 数	0	2	2	2	0	0	3	1	2	12	106
搬 送 人 員	0	2	2	1	0	0	3	1	2	11	101

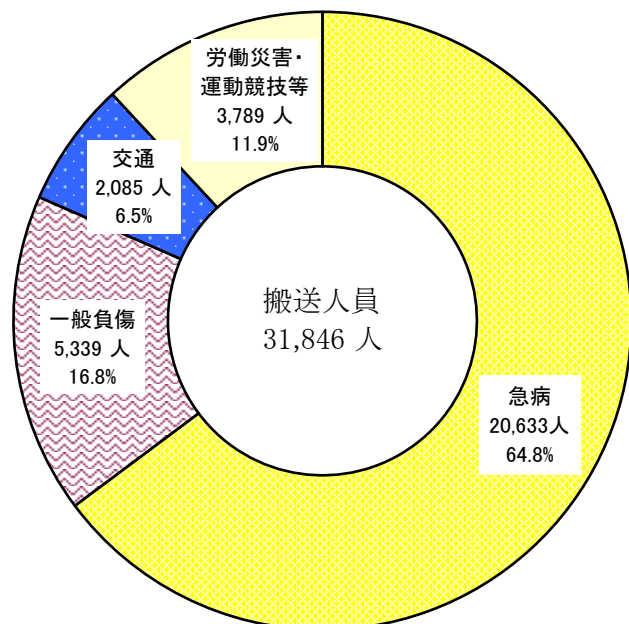
第1図 過去10年間の救急活動の推移



第2図 出場件数の事故種別内訳



第3図 搬送人員の事故種別内訳



第4章 予 防 行 政 の 概 況

1 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の人が出入りするなど一定の防火対象物について、所有者や賃借人等のうち管理について権原を有する人が、火災予防のために資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告する制度である。

この制度による令和6年4月1日から令和7年3月31日までの状況は第1表のとおりである。

第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表

防火対象物の区分			点検を要する 防火対象物数		点検報告済 防火対象物数		特例認定済 防火対象物数	
			第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当
1	イ	劇場、映画館、演芸場または観覧場	31		12		2	
	ロ	公会堂または集会場	213		102		49	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの						
	ロ	遊技場またはダンスホール	47		28		7	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	1	1	1	1		
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1	5		4		
	ロ	飲食店	6	30	5	13		
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗または展示場	201	11	151	6	2	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	39	63	21	16	10	14
6	イ	病院、診療所または助産所	37	8	16	1	8	2
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、精神障害者社会復帰施設等	7	5	3	4		
	ハ	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、精神障害者社会復帰施設（軽微）等	3	4	3	1		
	ニ	幼稚園または特別支援学校	206	28	105	10	18	1
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場						
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が上記に該当する用途に供されているもの	795	159	450	59	96	17
16の2		地下街						
合 計			1,587	314	897	115	192	34

【備考】

- ・点検報告済防火対象物とは、1年に1回、防火対象物点検資格者による点検報告が必要なもので、点検の結果、点検基準に適合していると認められた防火対象物。「防火基準点検済証」を表示することができる。
- ・特例認定済防火対象物とは、一定の要件を満たしているもので、申請によって点検報告の義務が3年間免除される防火対象物「防火優良認定証」を表示することができる。
- ・第1号該当とは、収容人員が300人以上の防火対象物
- ・第2号該当とは、収容人員が30人以上300人未満の防火対象物で次の要件に該当する防火対象物
 - 特定用途部分が地階または3階以上に存するもの（避難階は除く）
 - 階段が2以上設けられていないもの
- ・調査基準日…令和7年3月31日
- ・調査期間……令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 消防設備士試験および講習の状況

消防設備士は、甲種・乙種合わせて790人の受験者に対して293人が合格し、合格率は36.4%であった。その状況は第2表のとおりである。
また、免状所有者に対する義務講習は538人が受講した。その状況は第3表のとおりである。

第2表 消防設備士試験実施状況表

区 分	令和6年度								免状交付延べ数	
	受験者数（人）		合格人数（人）		合格率（％）		免状交付数			
	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
特 類	13		5		38.5%		6		77	
第 1 類	91	29	26	9	28.6%	31.0%	25	10	1,374	385
第 2 類	42	12	15	4	35.7%	33.3%	15	6	406	125
第 3 類	34	14	6	6	17.6%	42.9%	5	6	345	85
第 4 類	142	86	40	38	28.2%	44.2%	41	35	3,108	1,327
第 5 類	35	18	11	7	31.4%	38.9%	11	6	370	148
第 6 類		223		96		43.0%		89		2,657
第 7 類		51		30		58.8%		25		3,559
計	357	433	103	190	28.9%	43.9%	103	177	5,680	8,286

第3表 消防設備士法定講習実施状況表

区 分	受 講 対 象 者 区 分	受講者数（人）	実 施 年 月 日
消 火 設 備	(甲・乙)第1類, 第2類, 第3類 消防設備士	103	令和6年8月27日（火）
避難設備・消火器	(甲・乙)第5類, (乙)第6類 消防設備士	151	令和6年8月28日（水）
警 報 設 備	(甲・乙)第4類, (乙)第7類 消防設備士	284	令和6年9月3日（火） 令和6年9月4日（水）
合 計		538	

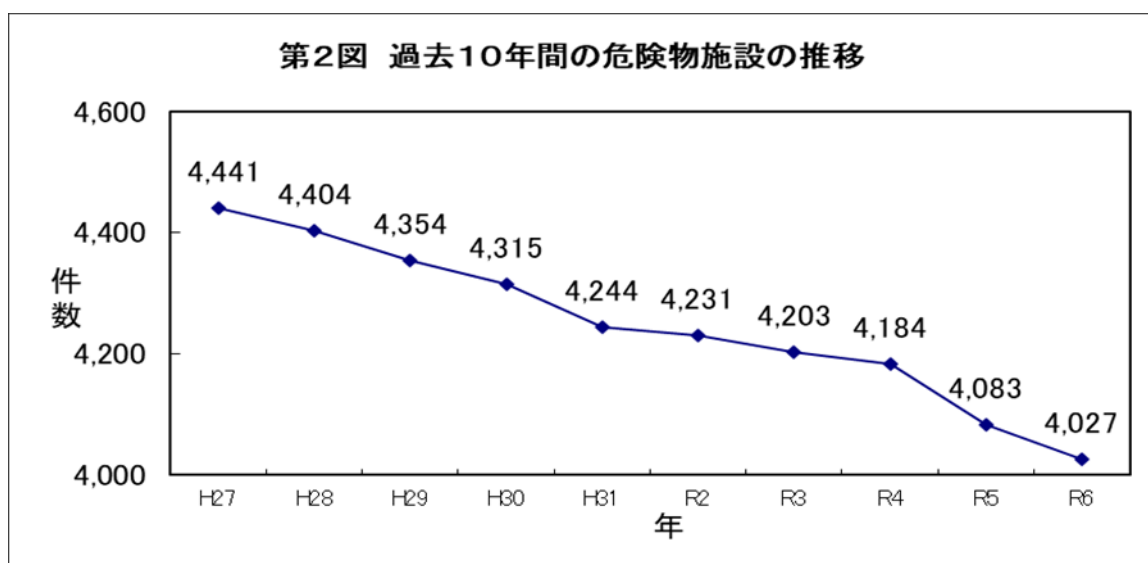
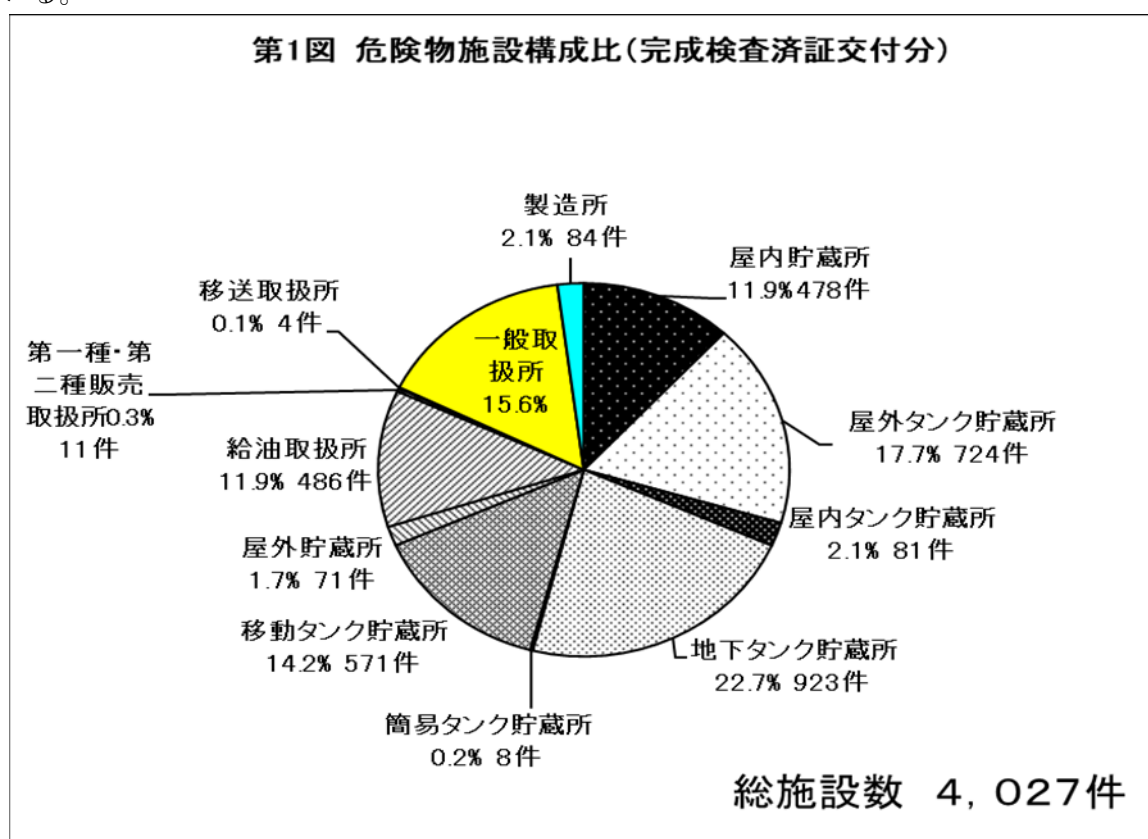
第5章 危険物規制

1 概況

(1) 危険物規制は、福井市、大野市、勝山市および永平寺町においては当該市町が、またその他の市町においてはそれぞれの加入する消防組合が行なっている。

なお、県内の総施設数は第1図のとおりである。(令和7年3月31日現在)

(2) 危険物の総施設数の推移は第2図のとおり減少傾向であり、前年に対し56件減少している。



第1表 施設別危険物施設数

令和7年3月31日現在

危険物施設の別 消防本部名	製 造 所 (A)	貯 蔵 所										取 扱 所						合 計 (A + B + C)	事 業 所
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	準 特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計 (C)		
福 井 市	26	111	187	5	20	27	246	1	150	18	740	119	8	0	1	133	261	1,027	482
大 野 市	0	7	14	0	0	0	48	0	30	0	99	19	0	0	0	30	49	148	88
勝 山 市	3	9	23	0	0	1	41	0	14	2	90	15	0	0	0	20	35	128	75
永 平 寺 町	0	6	3	0	0	2	18	0	13	0	42	6	0	0	0	11	17	59	35
嶺北消防組合	34	106	192	3	34	12	152	1	104	22	589	81	0	0	2	159	242	865	291
鯖江・丹生消防組合	5	61	46	0	0	4	90	0	48	5	254	40	0	2	0	44	86	345	194
南越消防組合	13	72	103	0	0	13	115	2	77	8	390	63	0	0	0	76	139	542	241
敦賀美方消防組合	1	55	88	7	8	15	116	0	84	11	369	87	0	0	1	94	182	552	218
若狭消防組合	1	53	56	0	0	9	74	4	50	2	248	48	1	0	0	63	112	361	151
合 計	83	480	712	15	62	83	900	8	570	68	2,821	478	9	2	4	630	1,123	4,027	1,775

- 注：1 貯蔵所および取扱所の区分は危険物の規制に関する政令の区分による（以下の表においても同様）。
- 2 本表には、設置を許可した施設のうち、完成検査済証を交付した施設数から廃止届を受理した施設数を除いた数を記載（以下の表においても同様）
- 3 準特定屋外タンク貯蔵所には、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が五百キロリットル以上千キロリットル未満のものを記載（以下の表においても同様）
- 4 特定屋外タンク貯蔵所数は、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が千キロリットル以上のものを記載（以下の表においても同様）
- 5 事業所数は、危険物施設を有する事業所の数を記載

第2表 指定数量別および類別危険物施設数

令和7年3月31日現在

危険物施設の別 数量別・類別		製造所 (A)	貯 蔵 所										取 扱 所						合計 (A + B + C)
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	準特定屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	小計 (C)	
5倍以下		4	212	107			56	452	8	431	14	1,280	31	3			267	301	1,585
5倍を超えて10倍以下		11	100	91			22	217		18	26	474	54	4			147	205	690
10 " 50 "		32	89	241			5	152		24	24	535	128	2	2		127	259	826
50 " 100 "		18	16	89				36		70	3	214	59				39	98	330
100 " 150 "		3	30	53				26		26		135	49				16	65	203
150 " 200 "			14	10	1			7			1	32	51				9	60	92
200 " 1,000 "		15	16	57	9	3		10		1		84	104				18	122	221
1,000 " 5,000 "			3	23	5	18						26	1				3	4	30
5,000 " 10,000 "				3		3						3					2	2	5
10,000倍を超えるもの				38		38						38	1			4	2	7	45
合 計		83	480	712	15	62	83	900	8	570	68	2,821	478	9	2	4	630	1,123	4,027
単 独	第 1 類		7									7							7
	第 2 類	1	4									4					5	5	10
	第 3 類		3									3					5	5	8
	第 4 類	58	422	708	15	62	83	900	8	570	67	2,758	478	9	2	4	598	1,091	3,907
	第 5 類		12	2								14							14
	第 6 類			2								2							2
混 在		24	32								1	33					22	22	79
合 計		83	480	712	15	62	83	900	8	570	68	2,821	478	9	2	4	630	1,123	4,027

注：1 数量別の欄は、危険物施設で貯蔵または取り扱う危険物の最大数量（許可数量）を指定数量の倍数によって表したものである。

注：2 類別の欄の単独には、類を同じくする危険物のみを貯蔵または取り扱っている危険物施設の数、混在には、類を異にする危険物を貯蔵または取り扱っている危険物施設の数に記載

第3表 危険物施設に対する立入検査状況

令和6年4月 1日から
令和7年3月31日まで

危険物施設の別 消防本部名		製造所 (A)	貯 蔵 所								取 扱 所						合 計 (A + B + C)
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計 (C)	
福 井 市	検査施設数	24	40	154	3	58		152	14	421	70	1		1	65	137	582
	延 回 数	24	40	157	3	59		153	14	426	75	1		1	70	147	597
大 野 市	検査施設数					15		30		45	2				1	3	48
	延 回 数					15		30		45	2				1	3	48
勝 山 市	検査施設数	2	7	14	1	26		12	2	62	13				16	29	93
	延 回 数	2	7	14	1	26		12	2	62	13				16	29	93
永 平 寺 町	検査施設数		5	3	2	19		13		42	6				11	17	59
	延 回 数		5	3	2	19		13		42	6				11	17	59
嶺 北 消 防 組 合	検査施設数	16	30	93	4	52		90	9	278	51			2	58	111	405
	延 回 数	16	30	93	4	54		90	9	280	52			2	59	113	409
鯖江・丹生消防組合	検査施設数	5	47	36	2	18		47	6	156	33		2		30	65	226
	延 回 数	5	50	37	2	18		47	6	160	33		2		31	66	231
南 越 消 防 組 合	検査施設数		8	9	1	48		62	3	131	19				9	28	159
	延 回 数		8	9	1	48		63	3	132	19				9	28	160
敦賀美方消防組合	検査施設数		13	31	8	48		64	4	168	54				40	94	262
	延 回 数		13	31	8	48		64	4	168	54				40	94	262
若 狭 消 防 組 合	検査施設数	1	22	47	7	29	3	45	1	154	27				26	53	208
	延 回 数	1	22	47	7	29	3	45	1	154	27				26	53	208
合 計	検査施設数	48	172	387	28	313	3	515	39	1,457	275	1	2	3	256	537	2,042
	延 回 数	48	175	391	28	316	3	517	39	1,469	281	1	2	3	263	550	2,067

注：1 検査施設数の欄は、立入検査を行った施設数を危険物施設の区分ごとに記載
2 延回数の欄は、立入検査を行った延回数を危険物施設の区分ごとに記載

第4表の1 容量別屋外タンク貯蔵所数

令和7年3月31日現在

消防本部名 容量別	福井市	大野市	勝山市	永平寺町	嶺北消防組合	鯖江・丹生消防組合	南越消防組合	敦賀美方消防組合	若狭消防組合	合計
100kl未満	146	14	23	3	136	30	93	52	50	547
100kl ～ 500kl未満	16	0	0	0	19	16	10	21	6	88
500kl ～ 1,000kl未満	5	0	0	0	3	0	0	7	0	15
1,000kl ～ 5,000kl未満	0	0	0	0	19	0	0	8	0	27
5,000kl ～ 10,000kl未満	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
10,000kl ～ 50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50,000kl ～ 100,000kl未満	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
100,000kl以上	20	0	0	0	10	0	0	0	0	30
合計	187	14	23	3	192	46	103	88	56	712

第4表の2 品名別屋外タンク貯蔵所数

令和7年3月31日現在

品名別 容量別	第4類										第4類以外の類(B)	合計(A+B)
	原油	ナフサ	ガソリン	灯油	軽油	重油	第4石油類	アルコール類	その他	小計(A)		
100kl未満	0	0	5	60	35	130	16	62	235	543	4	547
100kl ～ 500kl未満	0	0	0	4	15	35	9	0	25	88	0	88
500kl ～ 1,000kl未満	3	0	1	0	1	7	0	0	3	15	0	15
1,000kl ～ 5,000kl未満	0	0	6	3	4	7	0	0	7	27	0	27
5,000kl ～ 10,000kl未満	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2
10,000kl ～ 50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50,000kl ～ 100,000kl未満	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0	3
100,000kl以上	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	30
合計	33	0	12	69	55	182	25	62	270	708	4	712

第5表 危険物取扱者試験実施状況

区 分 種 別		令和3年度 合格率 (%)	令和4年度 合 格 率 (%)	令和5年度 合 格 率 (%)	令和6年度		
					受 験 者 数 (人)	合 格 者 数 (人)	合 格 率 (%)
甲 種		36.2	36.6	37.6	179	74	41.3
乙 種	第 1 類	63.2	67.7	69.8	88	52	59.1
	第 2 類	69.2	62.4	63.7	84	56	66.7
	第 3 類	70.3	73.2	71.9	102	72	70.6
	第 4 類	37.3	30.0	27.6	1,832	544	29.7
	第 5 類	70.1	37.9	74.4	143	90	62.9
	第 6 類	59.2	74.1	70.9	113	67	59.3
	小 計	45.5	38.5	36.4	2,541	955	37.6
丙 種		57.2	45.6	45.2	390	195	50.0
合 計		46.6	39.4	37.6	3,110	1,224	39.4

第6表 危険物取扱者保安講習実施状況

区 分 講習種別		令和3年度 受講者数 (人)	令和4年度 受講者数 (人)	令和5年度 受講者数 (人)	令和6年度	
					受講者数 (人)	講習実施回 数 (回)
給 油 取 扱 所		399	377	437	467	10
石 油 コ ン ビ ナ ー ト		45	25	40	29	2
そ の 他		1,580	1,165	1,728	1,764	14
合 計		2,024	1,567	2,205	2,260	26

- 注：1 「給油取扱所」は、給油取扱所において危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 2 「石油コンビナート」は、石油コンビナート等災害防止法上の特定事業所における危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 3 「その他」は、「給油取扱所」および「石油コンビナート」以外の危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。

2 危険物施設の火災および漏えい事故等

- (1) 過去5年間における危険物の災害事故発生件数は、令和3年が9件と最も多い。
 (2) 過去5年間の危険物施設別の災害事故発生件数は、一般取扱所での事故が7件と最も多い。

第7表 過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数

年	内 訳	危険物施設の別 製造所 (A)	貯蔵所							取扱所						その他 (D)	合計 (A+B+C+D)
			屋内 貯蔵所	屋外 タンク 貯蔵所	屋内 タンク 貯蔵所	地下 タンク 貯蔵所	簡易 タンク 貯蔵所	移動 タンク 貯蔵所	屋外 貯蔵所	小計 (B)	給油 取扱所	第一種 販売取 扱所	第二種 販売取 扱所	移送 取扱所	一般 取扱所	小計 (C)	
令和2年	火災									0					1	1	1
	漏えい							1		1					1	1	2
	その他									0						0	0
令和3年	火災	1								0					2	2	3
	漏えい			1		1		1		3	1				1	2	5
	その他									0	1					1	1
令和4年	火災	1								0					1	1	2
	漏えい			1						1					1	1	2
	その他									0	1					1	1
令和5年	火災									0						0	0
	漏えい									0						0	0
	その他									0						0	0
令和6年	火災							1		1						0	1
	漏えい							2		2						0	2
	その他							1		1						0	1
火災計		2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	4	7
漏えい計		0	0	2	0	1	0	4	0	7	1	0	0	0	3	4	11
その他計		0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	2	3
総計		2	0	2	0	1	0	6	0	9	3	0	0	0	7	10	21

注： 危険物施設の別の「その他」には、危険物運搬中の事故または無許可の危険物施設など、許可を受けている危険物施設以外での事故件数を記載

第6章 消 防 の 概 要

1 消防の組織〈消防機関と人員〉

昭和23年消防組織法施行後、市町村消防の原則が確立され、昭和48年7月1日大野地区消防組合が発足したことにより、県下全域にわたり消防の常備化が実現した。消防吏員は令和7年4月1日現在で1,250名である。

また、消防団員数は令和7年4月1日現在で5,806名であるが、近年の社会経済情勢の変化の影響を受けて、団員数の減少、サラリーマン団員の増加等の課題に直面しており、消防団の充実強化を一層推進することが必要である。

2 消防施設

(1) 消防機械

消防機械の保有状況は第8表および第9表のとおりであるが、特に近年の救急需要の増加に伴い、各消防本部とも高規格救急自動車の導入を推進している。これにより、高度な救急処置を実施することができ、救命率の向上を図っている。

(2) 消防水利

消防水利は、消防機械とともに、火災鎮火のために重要不可欠なものである。

これについては、消防に必要な水利の確保と管理のため「消防水利の基準」が定められ、その基準に適合したものを消防水利としている。消防水利には、消火栓、防火水槽、プール等の人工水利と河川等の自然水利があり、その保有状況は第11表のとおりである。

3 民間防火組織

(1) 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、幼年期における防火教育の重要性、防火活動を通じての正しい社会的態度の養成の必要性などの観点からはじめられたもので、幼稚園、保育園の指導者を中心に消防機関の協力を得て幼年消防活動を行うことにより、父母兄弟や近隣住民に対する防火思想の普及も効果的に図られている。

(2) 少年消防クラブ

少年消防クラブは、少年のころから火災予防に関する知識を身に付け、学校や各家庭における火災防止を図るとともに、火に関する諸原理を実際に即して勉強し、学校教育としての社会科、理科および家庭科の学習の補助を目的とするものであって、昭和25年に少年消防クラブ取扱要綱が制定され、続いて昭和28年に「全国少年消防クラブ運営指導協議会」(会長：消防庁長官)が設けられ、今日に至っている。

(3) 女性防火クラブ

女性防火クラブは、家庭において火を使用する機会の多い女性を対象に、火災予防の知識を養うことが必要であることから、任意に結成されたものであり、消防職団員の指導のもとに各家庭の防火診断、火災の初期活動等、重要な役割を果たしている。

4 表 彰

消防職員および消防団員の士気高揚を図るとともに、地域住民の消防に対する正しい認識と円滑な協力援助関係を確立するため、消防に関して功労のあった消防職団員、消防機関その他の団体または個人に対し、各種表彰を行っている。

また、昭和58年より新たに県知事の定例表彰の中で、30年以上勤続の消防団員の配偶者等も表彰することにした。

5 消防の現況

第1表 消防職団員数の推移(各年4月1日現在)

区分	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
消防職員数	150	163	203	201	231	227	262	257	268	293	328	351	354	372	381	421	461	521	594
消防団員数	11,835	10,701	8,487	8,275	8,091	7,342	7,174	7,147	7,118	6,744	6,759	6,731	6,751	6,754	6,491	6,388	6,303	6,191	6,019

47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4
693	743	785	785	832	851	872	895	922	937	950	974	974	982	982	983	999	1,009	1,010	1,032	1,052
5,814	5,703	5,647	5,635	5,633	5,623	5,629	5,616	5,549	5,623	5,616	5,608	5,588	5,549	5,545	5,485	5,471	5,453	5,437	5,488	5,492

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1,090	1,101	1,119	1,141	1,162	1,169	1,183	1,186	1,190	1,188	1,190	1,193	1,192	1,190	1,189	1,184	1,183	1,180	1,192	1,196	1,189
5,497	5,519	5,502	5,533	5,523	5,518	5,497	5,499	5,483	5,460	5,436	5,439	5,442	5,406	5,411	5,411	5,480	5,560	5,656	5,688	5,661

26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	7
1,188	1,206	1,206	1,226	1,238	1,235	1,246	1,245	1,252	1,248	1,250	1,250
5,720	5,797	5,781	5,809	5,825	5,824	5,814	5,874	5,858	5,849	5,826	5,806

第2表 消防機関の現況

区 分		令和6年4月(B)	令和7年4月(A)	増減(B-A)
消防本部・署	消防本部数	9	9	0
	消防署数	19	19	0
	出張所数	26	26	0
	消防職員数	1,250	1,250	0
消防団	消防団数	18	18	0
	分団数	236	236	0
	消防団員数	5,826	5,806	△ 20

第3表 消防の概況

令和7年4月1日現在

消防本部名 区 分	消防本部・署所							消防団									消防水利			基地局および固定局	移動局	
	設置別		消 防 署 数	出 張 所 数	（消 防 実 吏 員 数	自普 通消 防車 ポン プ 数	自水槽 付消 防車 ポン プ 数	消 防 団 数	分 団 数	消 防 団 常 備 部 数	団員数			自普 通消 防車 ポン プ 数	小型動力ポンプ付積載車			消 火 栓 （公 設 ）	防火水槽			
	消 防 本 部 の み 設 置	消 防 本 部 署 を 併 設									計	常 勤	非 常 勤		付小型 積動力 ポン プ 車 プ	い車両 に積載 し て の	4 0 ト ン 以 上		2 0 ト ン 未 満			
福 井 市	○		4	13	358	18	3	1	54		971		971	1	52		9,619	832	30	15	174	
大 野 市		○	1	1	55	4		1	9		441		441	10	20	4	487	318	19	3	37	
勝 山 市		○	1		36	3	1	1	12		289		289	2	12		437	249	13	15	42	
永 平 寺 町		○	1		39		3	1	11		376		376	10	10		184	261	11	3	27	
嶺 北 消 防 組 合		○	4	1	206	5	5	2	33		707		707	33	8	15	1,623	1,240	102	4	130	
鯖江・丹生消防組合		○	1	4	133	5	1	2	35		549		549	29	3		1,672	914	37	5	254	
南 越 消 防 組 合		○	3	2	146	6	4	3	33		790		790	9	13	9	2,539	689	32	7	149	
敦賀美方消防組合		○	3	1	147	6	3	3	16		725		725	20	36	3	1,337	238	161	8	142	
若 狭 消 防 組 合		○	1	4	130	7	3	4	33		958		958	9	38	36	1,093	529	52	6	173	
計	1	8	19	26	1,250	54	23	18	236	0	5,806	0	5,806	123	192	67	18,991	5,270	457	66	1,128	

第4表 階級別消防職員数

令和7年4月1日現在

消防本部名	消 防 職 員																条 例 定 数
	計 (A) Ⅱ (B) + (C)	うち 女性	消 防 吏 員 (実 員)										そ の 他 の 職 員				
			消 防 司 監	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	小 計 (B)	事 務 職 員	技 術 職 員	単 純 労 務 職 員	小 計 (C)	
福 井 市	365	8	()	1 ()	5 ()	26 ()	85 ()	58 (1)	68 (1)	66 ()	49 (5)	358 (7)	7 (1)	()	()	7 (1)	356
大 野 市	57	3	()	()	()	1 ()	5 ()	17 ()	13 (1)	7 ()	12 (1)	55 (2)	2 (1)	()	()	2 (1)	55
勝 山 市	40	1	()	()	()	1 ()	7 ()	13 (1)	5 ()	3 ()	7 ()	36 (1)	4 ()	()	()	4 (0)	42
永 平 寺 町	40	3	()	()	()	1 ()	6 ()	10 ()	7 ()	5 ()	10 (2)	39 (2)	1 (1)	()	()	1 (1)	45
嶺 北 消 防 組 合	208	11	()	1 ()	3 ()	6 ()	47 ()	42 ()	42 ()	34 (5)	31 (4)	206 (9)	2 (2)	()	()	2 (2)	218
鯖江・丹生消防組合	134	6	()	()	1 ()	12 ()	34 (2)	20 ()	18 (1)	21 (2)	27 (1)	133 (6)	1 ()	()	()	1 (0)	140
南 越 消 防 組 合	152	6	()	()	1 ()	10 ()	34 (2)	33 (1)	24 (1)	21 (1)	23 (1)	146 (6)	6 ()	()	()	6 (0)	154
敦賀美方消防組合	149	5	()	()	1 ()	13 ()	26 ()	26 ()	27 ()	28 ()	26 (4)	147 (4)	2 (1)	()	()	2 (1)	156
若 狭 消 防 組 合	131	4	()	()	1 ()	7 ()	30 ()	22 (1)	26 ()	25 ()	19 (3)	130 (4)	1 ()	()	()	1 (0)	140
計	1,276	47	0 (0)	2 (0)	12 (0)	77 (0)	274 (4)	241 (4)	230 (4)	210 (8)	204 (21)	1,250 (41)	26 (6)	0 (0)	0 (0)	26 (6)	1,306

注1: 下段の()は、女性職員の内数

注2: 条例定数に含まれない派遣・出向職員および短時間勤務の再任用職員がいるため、条例定数を超過している場合がある。

第5表 階級別非常勤消防団員数

令和7年4月1日現在

階級別 消防本部名	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	条例定数
福 井 市	971 (58)	5 ()	4 ()	54 (2)	54 (2)	102 (4)	103 (5)	649 (45)	1,055
大 野 市	441 (90)	1 ()	2 ()	9 (1)	10 (2)	34 (3)	67 (6)	318 (78)	485
勝 山 市	289 (21)	1 ()	2 ()	12 ()	12 ()	24 (1)	33 (2)	205 (18)	299
永 平 寺 町	376 (41)	1 ()	2 ()	12 (1)	11 (1)	()	34 ()	316 (39)	412
嶺 北 消 防 組 合	707 (17)	2 ()	8 ()	33 ()	52 ()	2 (2)	63 (3)	547 (12)	773
鯖江・丹生消防組合	549 (26)	2 ()	5 ()	33 ()	33 ()	()	68 (1)	408 (25)	647
南 越 消 防 組 合	790 (47)	3 ()	9 ()	32 (2)	32 (2)	()	82 (5)	632 (38)	826
敦賀美方消防組合	725 (37)	3 ()	4 ()	16 ()	16 ()	53 (1)	88 (3)	545 (33)	769
若 狭 消 防 組 合	958 (32)	4 ()	6 ()	33 ()	23 ()	54 (1)	95 ()	743 (31)	970
計	5,806 (369)	22 (0)	42 (0)	234 (6)	243 (7)	269 (12)	633 (25)	4,363 (319)	6,236

注：下段の()は、女性団員の内数

第6表 年齢別消防吏員および消防団員数

令和7年4月1日現在

年 齢 別 消防本部名	消 防 吏 員												消 防 団 員																	
	吏員数	(A)のうち										平均年齢	団員数	(C)のうち												平均年齢				
		18歳以下	20歳以下	25歳以下	30歳以下	35歳以下	40歳以下	45歳以下	50歳以下	55歳以上	年齢合計			(B)	(A)	18歳以下	20歳以下	25歳以下	30歳以下	35歳以下	40歳以下	45歳以下	50歳以下	55歳以下	60歳以下		65歳以上	年齢合計	(D)	(C)
		19歳	24歳	29歳	34歳	39歳	44歳	49歳	54歳	以上	(B)			(A)	(C)	19歳	24歳	29歳	34歳	39歳	44歳	49歳	54歳	59歳	64歳		以上	(D)	(C)	
福 井 市	358	3	44	54	39	44	24	37	56	57	14,356	40.1	971	4	1	20	47	73	165	183	190	154	98	36	47,507	48.9				
大 野 市	55	4	4	8	8	7	5	5	9	5	2,082	37.9	441	0	3	10	21	43	48	81	76	72	52	35	22,168	50.3				
勝 山 市	36	0	5	4	0	6	1	6	12	2	1,502	41.7	289	0	1	7	11	32	58	62	47	31	30	10	13,799	47.7				
永 平 寺 町	39	1	6	6	4	5	1	7	7	2	1,474	37.8	376	3	18	19	15	21	38	56	66	45	48	47	18,872	50.2				
嶺 北 消 防 組 合	206	3	20	28	25	31	17	24	40	18	8,160	39.6	707	0	5	20	24	88	110	140	138	94	55	33	34,082	48.2				
鯖江・丹生消防組合	133	7	19	21	12	14	10	19	22	9	5,010	37.7	549	3	7	29	40	78	115	97	107	38	22	13	24,500	44.6				
南 越 消 防 組 合	146	3	19	19	23	17	4	23	27	11	5,617	38.5	790	1	9	15	51	76	107	150	156	116	74	35	38,313	48.5				
敦賀美方消防組合	147	5	15	14	21	20	25	29	12	6	5,580	38.0	725	0	29	46	103	169	136	109	60	37	18	18	29,782	41.1				
若 狭 消 防 組 合	130	2	15	21	20	22	9	13	15	13	4,709	36.2	958	0	14	49	151	210	192	152	91	54	31	14	40,097	41.9				
計	1,250	28	147	175	152	166	96	163	200	123	48,490	38.8	5,806	11	87	215	463	790	969	1,030	931	641	428	241	269,120	46.4				

注:18歳～19歳の欄は18歳未満含む。

第7表 在職年数別消防吏員および消防団員数

令和7年4月1日現在

年 数 別 消防本部名	消 防 吏 員									消 防 団 員								
										非 常 勤 団 員								
	合 計	5 年 未 満	5 10 年 年 以 上 未 満	10 15 年 年 以 上 未 満	15 20 年 年 以 上 未 満	20 25 年 年 以 上 未 満	25 30 年 年 以 上 未 満	30 年 以 上		合 計	5 年 未 満	5 10 年 年 以 上 未 満	10 15 年 年 以 上 未 満	15 20 年 年 以 上 未 満	20 25 年 年 以 上 未 満	25 30 年 年 以 上 未 満	30 年 以 上	
福 井 市	358	51	60	55	32	24	30	106	971	181	208	169	174	104	75	60		
大 野 市	55	10	7	9	5	6	7	11	441	95	55	110	65	43	36	37		
勝 山 市	36	6	2	5	3	4	5	11	289	53	45	51	37	50	31	22		
永 平 寺 町	39	8	5	7	2	2	6	9	376	180	57	60	37	21	14	7		
嶺 北 消 防 組 合	206	24	30	31	33	14	15	59	707	133	116	116	123	87	78	54		
鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合	133	31	17	14	18	9	18	26	549	108	116	124	82	69	28	22		
南 越 消 防 組 合	146	21	27	25	11	6	23	33	790	130	152	147	118	102	75	66		
敦 賀 美 方 消 防 組 合	147	15	18	33	21	18	19	23	725	223	200	136	87	45	14	20		
若 狭 消 防 組 合	130	16	17	29	16	12	11	29	958	291	311	165	104	54	29	4		
計	1,250	182	183	208	141	95	134	307	5,806	1,394	1,260	1,078	827	575	380	292		

第8表 消防ポンプ自動車等現有数(消防本部および署)

令和7年4月1日現在

消防本部名	消 防 本 部 ・ 署 現 有																								
	普通 消防 ポン プ自 動車	水 槽 付 消 防 ポ ンプ 自 動 車	はしご付消防 ポンプ自動車 (ポンプ付でない ものを含む)				消屈 防折 ポン プは しご 自 動 車付	大 型 高 所 放 水 車	泡 原 液 搬 送 車	化 学 消 防 ポ ンプ 自 動 車	指 揮 車	照 明 車	ポ小型 ン動 力力 積積 載載	小小型 型動 力力 積積 載載	車両に 積載し ての車	広 報 車	資 器 材 搬 送 車	屈 折 放 水 塔 車	水 槽 車	支 援 車	人 員 搬 送 車	防 災 指 導 車	救 急 自 動 車	救 助 工 作 車	そ の 他 車 両
			18m 級	24m 級	30m 級	38m 級																			
福 井 市 消 防 局	18	3	2			1	1	1	1	3	5			7	6	5							11 (11)	2	8
大 野 市 消 防 本 部	4			1						1	1			8		3		1					4 (4)	1	1
勝 山 市 消 防 本 部	3	1									1				1	1							3 (3)	1	2
永 平 寺 町 消 防 本 部		3									1			3		1					1		3 (3)	1	
嶺 北 消 防 組 合	5	5					2		1	4	5		4		1	5			1				8 (8)	2	6
鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合	5	1			1					1	2				6	2		1		2			7 (7)	1	1
南 越 消 防 組 合	6	4			1					2	3			2	6	5	1	1	1	1			8 (8)	3	
敦 賀 美 方 消 防 組 合	6	3				1				2	1			5	1	5		1					6 (6)	1	8
若 狭 消 防 組 合	7	3			1					1	1				5	2				1			7 (6)	1	1
計	54	23	2	1	3	2	3	1	2	14	20	0	4	25	26	29	1	4	2	4	1		57 (56)	13	27

注:救急自動車の()は高規格救急自動車で内数

第9表 消防ポンプ自動車等現有数（消防団）

令和7年4月1日現在

種 別 消防本部名	消 防 団 現 有			
	普通消防ポンプ 自動車	水槽付消防ポンプ 自動車	小型動力ポンプ	
			小型動力ポンプ 付積載車	車両に積載して いないもの
福 井 市	1		52	0
大 野 市	10		20	4
勝 山 市	2		12	0
永 平 寺 町	10		10	0
嶺 北 消 防 組 合	33		8	15
鯖江・丹生消防組合	29	4	3	2
南 越 消 防 組 合	9		6	9
敦賀美方消防組合	20		36	0
若 狭 消 防 組 合	9		38	36
計	123	4	185	66

第10表 化学消火薬剤備蓄状況

令和7年4月1日現在

種 別 消防本部名	計		化学消火剤種別								
	(A) (kg) (ア)～(オ)	(B) (kg) (カ)～(ケ)	たん白系		合成界面 活性剤 (kl) (ウ)	水成膜泡 消火薬剤 (kl) (エ)	水溶性液体用泡 消火薬剤 (耐アルコール用) (kl) (オ)	粉末(kg)			
			3%型	6%型				第1種 粉 末 (カ)	第2種 粉 末 (キ)	第3種 粉 末 (ク)	第4種 粉 末 (ケ)
			(kl) (ア)	(kl) (イ)							
福 井 市	15.15	0.00	10.40	0.09	1.63	2.69	0.34				
大 野 市	1.79	0.00			0.60	1.19					
勝 山 市	0.76	0.00			0.76						
永 平 寺 町	0.50	0.00			0.50						
嶺 北 消 防 組 合	27.77	0.00	5.06		3.57	19.14					
鯖江・丹生消防組合	1.96	0.00			0.44	1.52					
南 越 消 防 組 合	2.61	0.00			1.05	1.56					
敦賀美方消防組合	1.63	0.00	0.20		0.89	0.54					
若 狭 消 防 組 合	0.35	0.00			0.35						
計	52.52	0.00	15.66	0.09	9.79	26.64	0.34	0.00	0.00	0.00	0.00

第11表 消防水利の状況

令和7年4月1日現在

種 別 計 消防本部名	(A) (B) + (C)	消火栓			小計(C) (D)+(E)					公設 (D)					私設 (E)					その他						
		小計 (B)	公設	私設	防火水槽				井戸	防火水槽				井戸	防火水槽				井戸	小計	河川・溝等	海・湖	プール・壕等	下水道	その他	
					100 m³ 以上	60 m³ 未満	40 m³ 未満	20 m³ 未満		100 m³ 以上	60 m³ 未満	40 m³ 未満	20 m³ 未満		100 m³ 以上	60 m³ 未満	40 m³ 未満	20 m³ 未満								
福 井 市	10,481	9,619	9,619	0	30	8	794	30	0	30	8	794	30	0	0	0	0	0	0	314	120		74			120
大 野 市	850	487	487	0	2	3	313	19	26	0	1	247	13	26	2	2	66	6	0	0						
勝 山 市	699	437	437	0	8	5	236	13	0	3	2	198	13	0	5	3	38	0	0	0						
永 平 寺 町	456	184	184	0	1	25	235	11	0	1	25	233	11	0	0	0	2	0	0	8			8			
嶺 北 消 防 組 合	2,962	1,619	1,619	0	52	37	1,152	102	0	12	19	956	78	0	40	18	196	24	0	39	5	1	33			
鯖江・丹生消防組合	2,623	1,672	1,672	0	17	13	884	37	0	15	10	853	37	0	2	3	31	0	0	30			25			5
南 越 消 防 組 合	3,358	2,637	2,539	98	7	19	663	32	0	6	19	647	30	0	1	0	16	2	0	102	61	1	21	18		1
敦賀美方消防組合	1,789	1,337	1,337	0	5	8	225	161	53	5	3	207	153	53	0	5	18	8	0	0						
若 狭 消 防 組 合	1,674	1,093	1,093	0	1	6	522	52	0	1	2	513	45	0	0	4	9	7	0	29			29			
計	24,892	19,085	18,987	98	123	124	5,024	457	79	73	89	4,648	410	79	50	35	376	47	0	522	186	2	190	18	0	126

第12表 消防機関の出動状況

令和6年中

種 別 区 分		県 計 (ア)～(サ)	火 災 (ア)	風水害 等 の 災 害 (イ)	演 習 訓 練 (ウ)	広 報 指 導 (エ)	警 防 調 査 (オ)	火 災 原 因 調 査 (カ)	特 別 警 戒 (キ)	捜 索 (ク)	予 防 査 察 (ケ)	誤報等 (コ)	その他 (サ)
消 防 本 部 ・ 署 所	出 動 回 数	21,122	153	44	2,579	3,075	5,406	218	1,418	14	6,018	110	2,087
	出動延人数	67,850	2,474	164	12,280	9,234	15,714	1,001	4,184	124	15,543	1,058	6,074
消 防 団	出 動 回 数	4,695	85	21	1,388	337	28	0	410	1	0	8	2,417
	出動延人数	34,190	1,315	353	17,426	2,812	345	0	3,614	5	0	65	8,255

第13表 消防吏員および団員の公務による死傷者数

令和6年中

種 別 区 分		県 計 (ア)～(キ)	火 災 (ア)	風水害 等 の 災 害 (イ)	救 急 業 務 (ウ)	演 習 訓 練 (エ)	特 別 警 戒 (オ)	捜 索 (カ)	その他 (キ)
消 防 吏 員	死 者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負 傷 者	8	0	0	1	4	0	0	3
消 防 団	死 者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負 傷 者	3	1	0	0	2	0	0	0

第14表 火災通報施設等の現況

令和7年4月1日現在

区 分 消防本部名	火災報知機				テレビ 監視装置	望 楼			電 話					救急指令装置		
	受信機	発信機				小計 24時間 監視体制をとっているもの (ウ)+(エ) (基)	その他 (エ) (基)	消防機関にあるもの							救急指令専用	消防指令装置と併用
		小 計 (ア)+(イ) (基)	公衆用 (ア) (基)	自衛用 (イ) (基)				小計 (オ)+(カ)+(キ) (回線)	火災報知専用電話 (オ) (回線)	消防電話		加入電話 (キ) (回線)				
										回線 (カ) (回線)	1ヶ月あたりの経費 (千円)					
福 井 市		0				0			256	18	205	160	33		1	
大 野 市		0			1	0			31	9	1	74	21			
勝 山 市		0				0			19	16			3			
永 平 寺 町		0				0			16	8			8		1	
嶺 北 消 防 組 合		0				0			37	2			35			
鯖江・丹生消防組合		0				0			65	11	5	233	49	1	1	
南 越 消 防 組 合		0				0			55	12	2		41			
敦賀美方消防組合		0				0			50	13	4	252	33			
若 狭 消 防 組 合		0			1	0			48	8	8		32			
計	0	0	0	0	2	0	0	0	577	97	225	719	255	1	3	

第15表 無線通信施設等の現況

令和7年4月1日現在

令和7年4月1日現在

種 別	消 防 ・ 救 急 業 務 用 無 線 （ デ ジ タ ル 方 式 ）												携 帯 電 話 等		
	固 定 局			基地局および携帯基地局						移 動 局		その他の無線局数	衛星携帯電話保有数	救急車および救急隊	うち災害時 優先電話
	局 数		局 の電波 の数 「その他」 の数	局 数		電 波 の 数				陸上移動局数	携帯局数				
	多重	その他		基地局	携帯基地局	統制波	主運用波	活動波	防災相互波						
消防本部名															
福 井 市	6			9		3	1	5		174			4	11	11
大 野 市				3		3	1	2		37			2	4	4
勝 山 市		12	12	3		3	1	2		42			1	2	2
永 平 寺 町				3		3	1	2		27			1	3	3
嶺 北 消 防 組 合				4		3	1	3		130			1	9	4
鯖江・丹生消防組合				5		3	1	2		254			3	6	6
南 越 消 防 組 合				7		3	1	3		149			5	8	8
敦賀美方消防組合				8		3	1	2		142			3	6	5
若 狭 消 防 組 合				6		3	1	2	1	173			1	6	6
計	6	12	12	48	0	27	9	23	1	1,128	0	0	21	55	49

第16表 幼年消防クラブの現況

令和7年4月1日現在

種 別	組 織 別 ク ラ ブ 数						組 織 別 ク ラ ブ 員 数						指 導 者 数			
	計	幼稚園 保育園 単 位	学 校 単 位	市 町 単 位	地 区 単 位	その他	計	幼稚園 保育園 単 位	学 校 単 位	市 町 単 位	地 区 単 位	その他	計	幼稚園 保育園 単 位	学 校 単 位	その他
消防本部名																
福 井 市	2	2					33	33					11	11		
大 野 市	14	14					800	800					14	14		
勝 山 市	10	10					363	363					37	37		
永 平 寺 町	1			1			122	122					81	81		
嶺 北 消 防 組 合	44	44					3,759	3,759					44	44		
鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合	37	37					1,308	1,308					88	88		
南 越 消 防 組 合	33	33					723	723					33	33		
敦 賀 美 方 消 防 組 合	35	35					2,234	2,234					35	35		
若 狭 消 防 組 合	1	1					26	26					5	5		
計	177	176	0	1	0	0	9,368	9,368	0	0	0	0	348	348	0	0

第17表 少年消防クラブの現況

令和7年4月1日現在

種 別	組 織 別 ク ラ ブ 数						組 織 別 ク ラ ブ 員 数						指 導 者 数			
	計	学 校 単 位		市 町 単 位	地 区 単 位	その他	計	学 校 単 位		市 町 単 位	地 区 単 位	その他	計	学 校 単 位		その他
		小 学 校	中 学 校					小 学 校	中 学 校					小 学 校	中 学 校	
消防本部名																
福 井 市	50	50					2,456	2,456					166	166		
大 野 市	9	9					466	466					9	9		
勝 山 市	15	3			3	9	751	314			49	388	46	9		37
永 平 寺 町	8					8	142					142	43			43
嶺 北 消 防 組 合	26	26					914	914					26	26		
鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合	18	18					2,215	2,215					89	89		
南 越 消 防 組 合	21	21					735	735					21	21		
敦 賀 美 方 消 防 組 合	10	10					321	321					10	10		
若 狭 消 防 組 合	0						0						0			
計	157	137	0	0	3	17	8,000	7,421	0	0	49	530	410	330	0	80

第 1 8 表 女性防火クラブの現況および活動状況

令和7年4月1日現在

種 別 消防本部名	合 計		周 囲 の 状 況								活 動 状 況 別 組 織 数		
			市街地		農山村地域		漁村地域		その他		消火活動を行う (a)	消火活動は行わないが、炊き出し、連絡、救護等を行う (b)	(a)(b)は行わず、予防の啓蒙活動を行っている (c)
	組織数 (ア)+(イ)+(ウ)+(エ)	人 員 (カ)+(キ)+(ク)+(ケ)	組織数 (ア)	人 員 (カ)	組織数 (イ)	人 員 (キ)	組織数 (ウ)	人 員 (ク)	組織数 (エ)	人 員 (ケ)			
福 井 市	33	790	18	446	14	284	1	60			5		28
大 野 市	0	0											
勝 山 市	7	81	2	30	5	51					7		
永 平 寺 町	1	15	1	15									1
嶺 北 消 防 組 合	2	445	2	445									2
鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合	15	831	1	120	11	367	3	344				10	5
南 越 消 防 組 合	12	134	8	73	4	61						12	
敦 賀 美 方 消 防 組 合	4	877	2	866	1	9	1	2			2	2	
若 狭 消 防 組 合	7	114			7	114							7
計	81	3,287	34	1,995	42	886	5	406	0	0	14	24	43

第19表 消防表彰受賞状況

種 類 \ 年 度			平27	28	29	30	令元	2	3	4	5	6
叙 勲			21	22	23	21	23	21	20	23	15	20
藍 綬 褒 章			2				3	1	1	2	1	1
消 防 庁 長 官 表 彰	功 勞 章		1	1	1				1	1	2	2
	永 年 勤 続 功 勞 章		22	22	23	23	23	24	23	25	25	25
	表 彰 旗											
	竿 頭 綬		1									
	消防団 地域活動	消 防 団	1	1					1		1	2
		事 業 所	1			1	4		1	1	2	1
	少 年 消 防 クラブ	表 彰 旗									1	
		表 彰 楯	1	1	1	1	1	1	1	1		1
		指 導 者										
	福 井 県 知 事 表 彰	功 勞 章		40	40	40	40	40	39	40	40	40
永 年 勤 続 精 績 章		132	168	149	154	137	120	155	143	149	167	
銀 杯		49	55	67	58	68	47	54	64	52	45	
感謝状		退 職 幹 部	49	23	20	17	19	20	25	14	22	13
		人 命 救 助 そ の 他										
		配 偶 者 等 表 彰	33	31	26	47	44	36	49	44	35	33
竿 頭 綬		46	47	49	52	45	49	54	74	65	64	
特 別 功 勞 章												

第 7 章 消 防 教 育 訓 練

1 消防学校の概要

(1) 沿革

昭和 3 4 年 7 月 1 6 日 福井市水越町に福井県消防学校設置
昭和 4 7 年 1 1 月 1 日 福井市合谷町へ移転
平成 8 年 4 月 1 日 福井市大畑町へ再移転、現在に至る。

(2) 施設概要

ア 所在地等 (ア) 所 在 地 福井市大畑町97-21-3
(イ) 敷 地 面 積 40,759.02㎡

イ 建物工作物等

建物構造および規模

・ 敷地面積..... 40,759.02㎡ ・ 建物延面積..... 8,001.62㎡

名 称	規模・構造	延べ面積(㎡)	内 容	
教育管理棟 宿泊施設(3階)	R C 造 3 階	3,249㎡	1階	校長室 講師控室 職員室 会議室 女性専用寮室(2室) 宿直室
			2階	普通教室(60人)(40人) 談話室 図書室 視聴覚室 理化学室(各種実習室併設) 等
			3階	寮室(20室) トレーニングルーム 娯楽室
体育館	鉄骨造2階 建	2,106.25㎡	1階	食堂 学生ホール 和室 倉庫
			2階	アリーナ
雨天訓練場	鉄骨平屋建	1,091.22㎡	訓練場(救助、ポンプ操法訓練施設) 訓練資器材庫 訓練車両庫	
訓練塔(主)	S R C 造 地下1階建 地上8階建	594.84㎡	立坑訓練室 耐煙迷路室 消火設備実験室 垂直救助訓練 水平ロープ渡過 ブリッジ救出訓練施設 放水訓練室 水平救助・担架吊り下げ救出訓練施設 梯子車注水訓練室 積載梯子上救出訓練施設 梯子車進入訓練室 高所活動・人命検索訓練施設 救助袋等避難器具取扱訓練室 地下火災実験室	
訓練塔(補助)	鉄 骨 造 地 上 7 m	A塔 70.44㎡ B塔 32.86㎡	人命救助訓練施設 引上救助訓練施設 中高層建物防御訓練施設 斜め救助訓練施設 障害突破 垂直降下訓練施設	
水難訓練用プール (兼、潜水訓練)	F R P 製	25m×5コース 水深1.5m～3.0m 容量630m³ 採水口4箇所(ポンプ車用) 機械室・便所(34.43㎡)		
その他施設	油火災消火訓練施設(耐火レンガ造) 直径3m×高さ0.5m 防火訓練壁 幅14m×高さ4m 受水槽20㎡ 煙道訓練施設 間口1.0m×1.0m 模擬火災訓練家屋 (可搬式プレハブ型模擬ハウス) 山岳救助訓練施設 (25m×60m)			
屋外訓練場	7,800㎡ (120m×65m) 1周200mグラウンド			

2 教育訓練

消防職団員の各種教育訓練を第1表および第2表のように実施し、人的消防力の充実向上を図るとともに、より高度の専門的知識を修得させた。
また、第3表のとおり消防大学校へ職員を派遣した。

第1表 令和6年度 消防本部別受講者数

区分	項 目 教育訓練の種類		実 施 年 月 日	教育 実日数	延時間	消 防 本 部 名											
						福 井	敦賀美方	南 越	若 狭	大 野	勝 山	鯖江丹生	嶺 北	永平寺	その他	合 計	
消 防 職 員	初任教育(第59期)		R6 4. 3～9. 25	119	828	7	3	5	2	3	1	8	4	3		36	
	幹部 教育	初級幹部科	隔年実施により未実施														
		中級幹部科 (第34期)	R6 12. 4～12. 12	7	49	4	2	2	2		1	2	2			15	
		上級幹部科 (第17期)	R6 6.18～6.20	3	21	4	2	2	3	1	1	2	2			17	
	専 科 教 育	警防科 (第40期)	R6 11.11～11.22	10	70	4	2	2	2	1	1	3	4			19	
		特殊災害科	隔年実施により未実施														
		予防査察科 (第20期)	R7 2.12～2.26	10	70	4	2	1	1	1	1	3	2			15	
		危険物科	隔年実施により未実施														
		火災調査科 (第25期)	R7 1.7～1.21	10	70	3	2	3	2	1	1	4	4	1		21	
		救助科 (第48期)	R6 10.3～11.6	23	161	4	2	1	2		1	2	4			16	
		救急科 (第32期)	R7 1.23～3.14	36	252	9	4	9	4	1	1	7	7	2	2	46	
	特 別 教 育	水難救助科 (第28期)	R6 8.20～9.4	12	84	4	2	1	2			1	2			12	
		特別講座等	(下記公開講座に記載)														
		操法指導員教育	R6 4.16～4.17	2	14	5	4	4	4	2	2	4	4	3		32	
		起震車操作員教育(新規養成)	R6 5.29	1	3	4	4	3	2			2	4			19	
	小 計			233	1,622	52	29	33	26	10	10	38	39	9	2	248	
消 防 団 員	初級幹部科		R6 11.9～11.10	2	12	6	7	2	9	7	2	5	4	3		45	
	指揮幹部科																
		現場指揮課程	R6 11.23～11.24	2	14	2	5	3	3	3	2	3	4	2		27	
		分団指揮課程	R6 12.7～12.8	2	10	2	5	3	8	1	2	5	3	2		31	
	消防団員指導員教育(日消)		R6 10.26～10.27	2	12	1	2	3	3	1	1	2	2	1		16	
	小 計			8	48	11	19	11	23	12	7	15	13	8		119	
そ の 般 他 ・	自主防災組織指導員教育																
	女性防火クラブ員教育		R6 10.6	1	6	4		1			2	2	5	2		16	
	小 計			1	6	4		1			2	2	5	2		16	
合 計				242	1,676	67	48	45	49	22	19	55	57	19	2	383	
公 開 講 座			通信指令特別教育	R6 8.5	1	3	3	5	2	4	1	3	5	5	2		30
			女性消防吏員活躍推進研修	R6 10.11	1	6	5	4	8	3	1	2	2	8	2		35
			救助科	R6 10.21	1	4	14	6	9	4		3	6	4	3		49
			中級幹部科	R6 12.10	1	4	3	4	14	2	1	3	5	4	2		38
			火災調査科	R7 1.16	1	4	2	3	3	2		2	3	2	3		20
公 開 講 座 合 計				5	21	27	22	36	15	3	13	21	23	12		172	
総 合 計				247	1,697	94	70	81	64	25	32	76	80	31	2	555	

第2表 令和6年度 消防学校教育訓練実施状況

区 分	項 目 教育訓練の種類		入校者数	教育実日数	教育時間数	担 当 講 師 別 時 間 数			
						学 校	県	消 防	専 門
消 防 職 員	初任教育(第59期)		36	119	828	506	54	218	50
	幹部教育	初級幹部科	隔年実施						
		中級幹部科(第34期)	15	7	49	7	8	25	9
		上級幹部科(第17期)	17	3	21	4	3	10	4
	専科教育	警防科	19	10	70	20	7	25	18
		特殊災害科	隔年実施						
		予防査察科(第19期)	15	10	70	11	3	53	3
		危険物科	隔年実施						
		火災調査科(第25期)	21	10	70	10	8	37	15
		救助科(第48期)	16	23	161	16	8	109	28
		救急科(第32期)	46	36	252	10	2	58	182
	特別教育	水難救助科(第28期)	12	12	84	3		74	7
		操法指導員教育	32	2	14	2		12	
		起震車操作員教育(新規養成)	19	1	3	3			
	小 計		248	233	1,622	592	93	621	316
消 防 団 員	初級幹部科		45	2	12	7			5
	指揮幹部科								
		現場指揮課程	27	2	14	1		13	
		分団指揮課程	31	2	10	6			4
	消防団指導員教育(日消)		16	2	12	11	1		
	小 計		119	8	48	25	1	13	9
そ の 他	自主防災組織指導員教育								
	女性防火クラブ員教育		16	1	6	5			1
	小 計		16	1	6	5			1
	合 計		383	242	1,676	622	94	634	326
公 開 講 座	中級幹部科		38	1	4				4
	救助科		49	1	4				4
	火災調査科		20	1	4				4
	通信指令員教育		30	1	3				3
	女性消防吏員活躍推進		35	1	6				6
	公 開 講 座 合 計		172	5	21				21
	総 合 計		555	247	1,697	622	94	634	347

第3表 令和6年度消防大学校派遣者数

学 科		派遣者数	備 考
幹 部 科	(第78期)	1	若狭消防
	(第79期)	1	福井市消防局
		1	永平寺町消防
		1	消防学校
		1	敦賀美方消防
	(第80期)	1	鯖江・丹生消防
新任消防長・学校長科	(第34期)	1	消防学校
警 防 科	(第114期)	1	鯖江・丹生消防
救 助 科	(第89期)	1	嶺北消防
予 防 課	(第117期)	1	南越消防
火 災 調 査 科	(第47期)	1	敦賀美方消防
新 任 教 官 科	(第18期)	1	消防学校
航 空 隊 長 コ ー ス	(第24回)	1	防災航空事務所
危機管理・国民保護コース	(第14回)	1	福井市
合 計		14	

防 災 編

第 1 章 災害の発生状況

1 令和 6 年中の災害発生状況

- (1) 人的被害
- 死者 0 人、重傷者 0 人、軽傷者 9 人
- (2) 住家被害
- 全壊 0 棟、半壊 1 2 棟、一部破損 8 3 0 棟、床上浸水 0 棟、床下浸水 6 棟

第 1 表 令和 6 年中の災害発生状況

発生年月日				災害名	地震	大雪	大雨	大雨	大雨	大雨	大雪	大雪	計	
区分					1月1日	1/23～1/25	5/27～5/28	6月23日	8月25日	11/1～11/2	12月16日	12月31日		
人的被害	負傷者	重 傷	人										0	
		軽 傷	人	6	1						1	1	9	
住家被害	全壊			棟									0	
	半壊			棟	12								12	
	一部破損			棟	830								830	
	床上浸水			棟									0	
	床下浸水			棟				6					6	
非住家	公共建物			棟									0	
	その他			棟	10								10	
その他	田	流失・埋没			ha								0.00	
		冠 水			ha			4.90					4.90	
の	畑	流失・埋没			ha								0.00	
		冠 水			ha			0.24					0.24	
	学 校			箇所	3			8					11	
	病 院			箇所	1								1	
	道 路			箇所	14			5	1				20	
	橋りょう			箇所	1								1	
	河 川			箇所	6		6	6		2			20	
	港 湾			箇所	1								1	
	砂 防			箇所			2						2	
	清掃施設			箇所									0	
	崖くずれ			箇所									0	
	鉄道不通			箇所									0	
	被害船舶			隻									0	
	他	水 道			戸	97								97
	電 話				回線									
	電 気				戸									
	ガ ス				戸									
その他	ブロック塀等			箇所									0	
	農 道			箇所	1								1	
の	下水道			箇所	20								20	
	農業用施設			箇所	1								1	
	その他の道路			箇所	1		1						2	
	給食センター			箇所	1								1	
	スポーツ施設			箇所	1								1	
	庁舎			箇所	1								1	
	公民館			箇所	1								1	
	歴史資料館			箇所	1								1	
	図書館			箇所	1								1	
	観光施設			箇所	2								2	
	その他			箇所	63								63	
	火災発生	建 物			件									0
危険物			件									0		
その他			件									0		
り災世帯数				世帯	12								12	
り災者数				人	35								35	
公立文教施設				千円	1,718								1,718	
農林水産業施設				千円	3,587		5,676						9,263	
公共土木施設				千円	1,022,777		70,343	1,096,766	44,358	30,836			2,265,080	
その他の公共施設				千円	432,105								432,105	
公共施設被害市町村数				団体									0	
その他被害				千円	44,202			5,902					50,104	
被害総額				千円	1,504,389		76,019	1,102,668	44,358	30,836			2,758,270	
都 道 府 県		設 置			1月1日									
災害対策本部		解 散			1月4日									
災害対策本部設置市町					8			2					10	
災害救助法適用市町					3								3	
消防職員出動延人数				人	102	3		29			3	3	140	
消防団員出動延人数				人	214			140					354	

2 過去5年間の災害発生状況（令和2年～令和6年）

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2020 (令2) 6.10～ 6.16	大雨	(1)農林水産業施設被害 5,023 千円 (2)公共土木施設被害 115,294 千円	梅雨前線が日本付近に停滞した影響により 14 日を中心に激しい雨が降り大雨となった所 があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 39.5mm 14 日 17 時 54 分 春江 38.0mm 14 日 18 時 05 分 福井 36.0mm 14 日 18 時 17 分 敦賀 32.0mm 14 日 19 時 37 分 小浜 31.5mm 13 日 07 時 49 分 (日降水量) 春江 125.5mm 14 日 越廼 111.0mm 14 日 三国 108.5mm 14 日 勝山 105.0mm 14 日 福井 103.5mm 14 日
2020 (令2) 6.27～ 6.28	大雨	(1)公共土木施設被害 43,407 千円	梅雨前線の影響により 28 日は非常に激しい 雨が降り、大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 50.0mm 28 日 02 時 13 分 福井 36.5mm 28 日 02 時 40 分 美山 36.0mm 28 日 03 時 23 分 (日降水量) 越廼 97.0mm 28 日 福井 78.5mm 28 日 美山 57.5mm 28 日
2020 (令2) 7.8	大雨	(1)住家被害 床下浸水 3 棟	活発な梅雨前線の影響により大雨となった 所があった。 (日最大1時間降水量) 九頭竜 29.5mm 8 日 03 時 42 分 敦賀 26.5mm 8 日 05 時 07 分 今庄 19.5mm 8 日 05 時 30 分 (日降水量) 九頭竜 80.0mm 8 日 敦賀 53.0mm 8 日 今庄 53.0mm 8 日
2020 (令2) 7.10～ 7.14	大雨	(1)公共土木施設被害 71,287 千円	梅雨前線が日本付近に停滞した影響により 大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 三国 21.5mm 11 日 05 時 16 分 春江 19.5mm 11 日 06 時 39 分 美山 19.0mm 11 日 05 時 47 分 (日降水量) 九頭竜 68.5mm 13 日 勝山 51.0mm 13 日 春江 42.5mm 11 日 今庄 42.5mm 13 日
2020 (令2) 9.4	地震	(1)人的被害 軽傷 13 人	福井県嶺北を震源とする地震 9 月 4 日 09 時 10 分 M5.0 深さ 7km 北緯 36 度 06.9 分 東経 136 度 11.3 分 震度 5 弱 坂井市 震度 4 福井市、あわら市 震度 3 鯖江市、永平寺町、越前町、越前市

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2020 (令2) 12.19～ 12.20	大雪	(1)人的被害 軽傷 2人	12月14日～20日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、上空には強い寒気が流れ込んだ影響により奥越では大雪となった。 (日降雪量最大値) 大野 24cm 12月16日 九頭竜 40cm 12月16日 (最深積雪) 大野 45cm 12月20日 九頭竜 77cm 12月18日
2020 (令2) 12.31～ 2021 (令3) 1.1	大雪	(1)人的被害 軽傷 1人	12月31日から1月1日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、上空には強い寒気が流れ込んだ影響により大雪となった。 (日最大降雪量) 福井 10cm 12月31日 武生 10cm 1月1日 大野 21cm 1月1日 九頭竜 36cm 1月1日 今庄 27cm 12月31日 敦賀 18cm 12月31日 小浜 12cm 12月31日 (最深積雪) 福井 17cm 12月31日 武生 18cm 1月1日 大野 63cm 1月1日 九頭竜 98cm 1月1日 今庄 35cm 1月1日 敦賀 22cm 1月1日 小浜 11cm 12月31日
2021 (令3) 1.2～ 3.7	大雪	(1)人的被害 死者 8人 重傷 17人 軽傷 77人 (2)住家被害 全壊 2棟 半壊 1棟 一部破損 192棟 床上浸水 2棟 床下浸水 14棟 (3)非住家被害 その他 12棟 (4)その他 道路 2箇所 (5)その他 河川 1箇所 (6)公共土木施設被害 589,051千円 (7)災害対策本部設置市町 福井市、大野市、勝山市、坂井市、永平寺	1月8日から1月9日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、嶺北を中心に大雪となった。 (日最大降雪量) 福井 54cm 1月9日 武生 32cm 1月8日 大野 63cm 1月8日 九頭竜 52cm 2月17日 今庄 39cm 1月10日 敦賀 23cm 2月18日 小浜 4cm 1月29日、2月9日 (最深積雪) 福井 107cm 1月9日 武生 64cm 1月10日 大野 166cm 1月11日 九頭竜 187cm 1月10日 今庄 91cm 1月10日 敦賀 26cm 2月18日 小浜 4cm 1月2日、1月30日 2月9日
2021 (令3) 7.6～ 7.7	大雨	(1)その他 河川 1箇所 (2)公共土木施設被害 10,640千円	活発な梅雨前線の影響により大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 36.0mm 7日05時52分 九頭竜 27.5mm 7日06時19分 大野 22.0mm 7日06時24分 (日降水量) 越廼 72.5mm 7日 九頭竜 56.0mm 7日 美山 45.5mm 7日

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
			大飯 45.5mm 7 日
2021 (令3) 7.15	大雨	(1)その他 河川 1 箇所 (2)公共土木施設被害 20,643 千円	上空に流れ込んだ寒気の影響により、大気が不安定となった。 (日最大1時間降水量) 武生 18.0mm 15 日 16 時 11 分 美浜 9.0mm 15 日 19 時 27 分 大飯 6.5mm 15 日 15 時 14 分 (日降水量) 武生 18.0mm 15 日 美浜 9.0mm 15 日 大飯 9.0mm 15 日
2021 (令3) 7.29	大雨	(1)人的被害 軽傷 1 人 (2)住家被害 半壊 1 棟 床上浸水 16 棟 床下浸水 47 棟 (3)非住家被害 その他 1 棟 (4)その他 田 流失・埋没 480ha 田 冠水 47ha (5)その他 学校 2 箇所 (6)その他 道路 71 箇所 (7)その他 河川 41 箇所 (8)その他 砂防 25 箇所 (9)その他 水道 170 戸 (10)農林水産業施設被害 94,219 千円 (11)公共土木施設被害 1,055,177 千円 (12)その他被害 4,362 千円	29 日は、台風第 8 号から変わった日本海の低気圧に向かって、暖かく湿った空気が流入し、また、東日本上空約 6000 メートルの氷点下 6 度以下の寒気が北陸地方に流れ込んだ。このため、大気の状態が非常に不安定となり、福井県では嶺北を中心に大雨となった。 (日最大1時間降水量) 福井 44.0mm 29 日 06 時 17 分 越廼 34.0mm 29 日 08 時 12 分 美山 25.5mm 29 日 01 時 51 分 (日降水量) 福井 107.0mm 29 日 越廼 91.5mm 29 日 春江 60.0mm 29 日
2021 (令3) 8.9	台風 9号	(1)人的被害 軽傷 1 人	台風第 9 号は、8 日午後 8 時過ぎに鹿児島県枕崎市付近に上陸し、9 日 5 時過ぎに広島県呉市付近に再上陸した後、9 日 9 時に中国地方で温帯低気圧に変わった。 (日最大1時間降水量) 美山 18.0mm 9 日 21 時 04 分 小浜 15.5mm 9 日 5 時 18 分 (日降水量) 武生 54.0mm 9 日 美山 46.5mm 9 日 (日最大風速(9 日)) 三国 16.3m/s(南) 15 時 11 分 福井 14.8m/s(南南西)18 時 20 分 春江 14.4m/s(南) 17 時 20 分 (日最大瞬間風速(9 日)) 三国 30.2m/s(南) 18 時 16 分 福井 27.2m/s(南南西)17 時 44 分 春江 23.7m/s(南南西)18 時 23 分 越廼 23.7m/s(南) 17 時 39 分
2021 (令3) 8.14	大雨	(1)その他 道路 1 箇所 (2)その他 河川 5 箇所 (3)その他 砂防 4 箇所 (4)公共土木施設被害 145,906 千円	本州付近に停滞した活発な前線の影響により、大雨となった。 (日最大1時間降水量) 福井 31.0mm 14 日 06 時 47 分 武生 28.0mm 14 日 06 時 53 分 大飯 23.5mm 14 日 06 時 48 分 (日降水量) 大飯 93.0mm 14 日 武生 91.5mm 14 日 小浜 86.5mm 14 日

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2021 (令3) 12.18～ 12.28	大雪	(1) 人的被害 重傷 1人 軽傷 7人	上空に強い寒気が流れ込み、26日から27日にかけて断続的に雪が降った。 (日最大降雪量) 福井 14cm 12月25日 武生 19cm 12月26日、12月27日 大野 28cm 12月19日 九頭竜 36cm 12月27日 今庄 28cm 12月18日 敦賀 16cm 12月27日 小浜 34cm 12月26日 (最深積雪) 福井 33cm 12月27日 武生 35cm 12月27日 大野 46cm 12月28日 九頭竜 57cm 12月27日、12月28日 今庄 41cm 12月27日 敦賀 26cm 12月27日 小浜 47cm 12月27日
2022 (令和4) 1.20	大雪	(1) 人的被害 軽傷 1人	日本付近は、冬型の気圧配置となっている。北陸地方の上空約5500メートルに、氷点下36度以下の強い寒気が流れ込んだ影響で大気の状態が非常に不安定となり嶺北の山地を中心に大雪となった。 (日降雪量最大値(20日)) 九頭竜 43cm 大野 43cm 今庄 30cm 武生 22cm 福井 14cm 敦賀 4cm 小浜 3cm (最深積雪最大値(20日)) 九頭竜 151cm 大野 99cm 今庄 72cm 武生 30cm 福井 28cm 小浜 5cm 敦賀 4cm
2022 (令和4) 2.16～ 2.17	大雪	(1) 人的被害 重傷 2人 軽傷 1人 (2) 公共土木施設被害 19,795千円	日本海の低気圧や寒気の影響で日本海側を中心に大雪となった。 (日降雪量最大値) 福井 18cm 2月16日 武生 17cm 2月16日 大野 56cm 2月16日 九頭竜 49cm 2月16日 今庄 19cm 2月17日 小浜 8cm 2月17日 敦賀 15cm 2月17日 (最深積雪最大値) 福井 25cm 2月17日 武生 24cm 2月17日 大野 124cm 2月17日 九頭竜 198cm 2月17日 今庄 80cm 2月17日 小浜 8cm 2月17日 敦賀 15cm 2月17日

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2022 (令和4) 3. 26	暴風	(1) 人的被害 重傷 1 人 (2) 住家被害 半壊 1 棟 一部破損 2 棟	日本海の低気圧が発達したため、日本海側を中心に広範囲で南よりの暴風となった。 (日最大風速) 敦賀 18.2m/s(南南東)14時35分 三国 17.5m/s(南南東)15時40分 (日最大瞬間風速) 美浜 29.8m/s(東南東)14時16分 敦賀 29.7m/s(南東)14 時 21 分
2022 (令和4) 7. 3	大雨	(1) 公共土木施設被害 24,305 千円	気圧の谷と湿った空気の影響で、大気の状態が不安定となった。 <日最大1時間降水量> 福井 70.0mm 3 日 19 時 36 分 勝山 40.5mm 3 日 20 時 29 分 美山 35.0mm 3 日 19 時 41 分 大野 33.5mm 3 日 20 時 17 分 <日降水量> 福井 102.5mm 勝山 63.0mm 大野 53.0mm 武生 49.0mm
2022 (令和4) 8. 4～ 8. 5	大雨 【福井 県災害 対策本 部設置】	(1) 住家被害 全壊 8 棟 半壊 70 棟 一部破損 1 棟 床上浸水 85 棟 床下浸水 184 棟 (2) 非住家被害 その他 14 棟 (3) 農林水産業施設被害 305,000 千円 (4) 公共土木施設被害 6,148,801 千円 (5) その他被害 2,000 千円 (6) 災害対策本部設置市町村 敦賀市、勝山市、大野市、鯖江市、 越前市、南越前町、越前町	8 月 4 日から 5 日は、日本海から北陸地方を 通って日本の東にのびる前線がゆっくり南下 した。日本の南に中心を持つ高気圧の縁をま わる暖かく湿った空気が前線に向かって流れ 込んだ影響や、上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となった。4 日昼前には奥越で猛烈 な雨が降り、激しい雨が同じ場所で降り続い たことから「線状降水帯」が発生した。5 日明 け方から朝にかけて嶺南部や嶺南東部に 次々と発達した積乱雲が流れ込み、断続的に 猛烈な雨が降り記録的な大雨を観測した。 <日最大1時間降水量> 今庄 74.0mm 5 日 09 時 13 分 美浜 66.0mm 5 日 06 時 58 分 九頭竜 65.5mm 4 日 07 時 31 分 勝山 56.0mm 4 日 09 時 27 分 大野 56.0mm 4 日 09 時 17 分 <期間降水量(3 日～5 日)> 今庄 426.0mm 武生 233.5mm 大野 219.5mm 九頭竜 206.5mm 福井 189.0mm 美山 186.0mm 勝山 182.0mm
2022 (令和4) 12. 23～ 12. 24	大雪	(1) 人的被害 軽傷 1 人	12 月 23 日から 24 日にかけて、上空の強い 寒気が南下し冬型の気圧配置が強まった。 JPCZ が嶺北を南下したため、23 日夜から 24 日明け方にかけて、断続的に活動が活発な雪 雲が流れ込み、奥越を中心に大雪を観測した。 (日降雪量最大値) 福井 14cm 12 月 23 日 武生 11cm 12 月 23 日 大野 28cm 12 月 23 日 九頭竜 29cm 12 月 24 日 今庄 11cm 12 月 24 日 敦賀 2cm 12 月 24 日

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
			(最深積雪最大値) 福井 20cm 12月24日 武生 9cm 12月24日 大野 64cm 12月24日 九頭竜 87cm 12月24日 今庄 33cm 12月24日 敦賀 2cm 12月24日
2023 (令和5) 1.27～ 1.30	大雪	(1)人的被害 重傷 2人 軽傷 17人 (2)住家被害 一部破損 1棟	1月27日から30日にかけて冬型の気圧配置が続くなか、同じ地域に次々と発達した雪雲が流れ込み、28日未明には嶺南西部、28日夜遅くには嶺南東部、29日夜にかけて嶺北で、3時間降雪量が10-15センチを観測し、短時間に降雪が強まった。特に、嶺南東部では、28日昼過ぎから強い降雪が続き、夜遅くには若狭湾から嶺南東部にかけてJPCZが出現し降雪がさらに強まった。このため、29日未明には山地で警報基準を上回る大雪を観測し、幹線道路では通行止めが発生した。 (日降雪量最大値) 福井 25cm 1月28日 武生 26cm 1月28日 大野 30cm 1月29日 九頭竜 23cm 1月30日 今庄 24cm 1月30日 小浜 19cm 1月28日 敦賀 25cm 1月28日 (最深積雪最大値) 福井 61cm 1月29日 大野 93cm 1月30日 九頭竜 139cm 1月30日 今庄 59cm 1月30日 小浜 32cm 1月28日 敦賀 37cm 1月29日
2023 (令和5) 6.28～ 6.29	大雨	(1)公共土木施設被害 118,876千円	6月28日から29日は、暖かく湿った空気や上空の寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となった。このため、29日未明から明け方にかけて嶺北南部や嶺南東部で非常に激しい雨が降った所があった。 <日最大1時間降水量> 今庄 59.0mm 29日 02時59分 敦賀 52.5mm 29日 03時42分 武生 22.5mm 29日 01時50分 越廼 20.5mm 28日 23時33分 <期間降水量(28日～29日)> 今庄 147.5mm 敦賀 136.5mm 武生 80.5mm 越廼 64.5mm
2023 (令和5) 7.12～ 7.13	大雨	(1)住家被害 全壊 1棟 一部破損 1棟 床上浸水 16棟 床下浸水 133棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)農林水産業施設被害 747,661千円 (4)公共土木施設被害 2,107,672千円	日本海にのびる梅雨前線が、12日から13日にかけて北陸地方をゆっくり南下し、福井県付近に停滞した。この前線に向かって太平洋高気圧の縁を回って暖かく湿った空気が流入した。また、北陸地方の上空に寒気が流れ込んだ影響もあり、大気の状態が非常に不安定となった。特に13日未明から朝にかけては嶺北や嶺南東部で雷を伴って非常に激しい雨が降り、アメダス三国と越廼では日最大1時

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
		(5)その他の公共施設被害 7,824 千円 (6)その他被害 6,189 千円	間降水量が観測史上 1 位の値を更新する大雨となった。この大雨の影響により、嶺北を中心に土砂災害や浸水害などが発生した。また、道路の通行止めや交通機関の運休などライフラインへの大きな影響があった。 <日最大 1 時間降水量> 越廼 69.0mm 13 日 04 時 54 分 三国 66.0mm 13 日 01 時 19 分 大野 49.0mm 13 日 05 時 38 分 福井 47.5mm 13 日 04 時 46 分 武生 44.5mm 13 日 05 時 33 分 勝山 44.0mm 13 日 05 時 15 分 <期間降水量(12 日～13 日)> 三国 159.5mm 越廼 142.0mm 美山 135.5mm 勝山 132.5mm 大野 131.5mm 武生 121.0mm 福井 118.5mm
2023 (令和5) 12.21～ 12.23	大雪	(1)人的被害 軽傷 6 人 (2)住家被害 一部破損 2 棟	12 月 21 日から 23 日にかけては上空に強い寒気が入り冬型の気圧配置が強まった。特に 21 日夜から 22 日朝にかけては、海上からのびる発達した雪雲(JPCZ:日本海寒帯気団収束帯)により断続的に強い降雪となり、嶺北北部と奥越を中心に大雪となった。また、22 日夕方から 23 日朝にかけては嶺北南部から嶺南東部にかけても降雪が強まり、大雪となった。 (日降雪量最大値) 福井 28cm 12 月 22 日 武生 26cm 12 月 22 日 大野 55cm 12 月 22 日 九頭竜 53cm 12 月 22 日 今庄 26cm 12 月 23 日 敦賀 23cm 12 月 23 日 (最深積雪最大値) 福井 38cm 12 月 23 日 武生 21cm 12 月 23 日 大野 61cm 12 月 23 日 九頭竜 77cm 12 月 22 日 今庄 41cm 12 月 23 日 敦賀 29cm 12 月 23 日
2024 (令和6) 1.1	地震 【福井県災害対策本部設置】	(1)人的被害 軽傷 6 人 (2)住家被害 半壊 12 棟 一部破損 830 棟 (3)非住家被害その他 10 棟 (4)公立文教施設 1,718 千円 (5)農林水産業施設 3,587 千円 (6)公共土木施設 1,022,777 千円 (7)その他の公共施設 432,105 千円 (8)その他被害 44,202 千円 (9)災害対策本部設置市町 福井市、敦賀市、あわら市、坂井市、南越前町、越前町、	石川県能登地方を震源とする地震 1 月 1 日 16 時 10 分 M7.6 深さ 16km 北緯 37 度 5 分 東経 137 度 3 分 震度 5 強 あわら市 震度 5 弱 福井市、坂井市 震度 4 大野市、勝山市、鯖江市、越前市、永平寺町、越前町、敦賀市、小浜市、高浜町、おおい町、若狭町 震度 3 池田町、南越前町、美浜町

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
		高浜町、おおい町	
2024 (令和6) 1.23～ 1.25	大雪	(1) 人的被害 軽傷 1 人	1 月 23 日から 1 月 25 日にかけて北陸地方の上空約 5500 メートルに氷点下 36 度以下の寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となった。 このため、福井県では 23 日夜遅くから 24 日昼過ぎにかけて、6 時間に 30 センチ前後の降雪となった所があり、「顕著な大雪に関する福井県気象情報」が 24 日に 4 回発表された。 (日降雪量最大値) 福井 10cm 1 月 23 日 武生 22cm 1 月 24 日 大野 29cm 1 月 24 日 九頭竜 46cm 1 月 24 日 今庄 39cm 1 月 24 日 敦賀 37cm 1 月 24 日 小浜 33cm 1 月 24 日 (最深積雪最大値) 福井 20cm 1 月 25 日 武生 26cm 1 月 24 日 大野 41cm 1 月 25 日 九頭竜 94cm 1 月 25 日 今庄 40cm 1 月 25 日 敦賀 36cm 1 月 24 日 小浜 33cm 1 月 24 日
2024 (令和6) 5.27～ 5.28	大雨	(1) 農林水産業施設 5,676 千円 (2) 公共土木施設 70,343 千円	5 月 27 日から 28 日にかけて本州付近を前線が通過。前線に向かって暖かく湿った空気も流入した影響で、大気の状態が不安定となり福井県内で大雨となった。 <日最大 1 時間降水量> 九頭竜 25.5mm 28 日 17 時 17 分 敦賀 20.5mm 28 日 06 時 11 分 美山 17.5mm 28 日 17 時 12 分 勝山 15.0mm 28 日 17 時 41 分 今庄 14.5mm 28 日 06 時 26 分 大飯 14.5mm 28 日 15 時 49 分 <期間降水量 (27 日～28 日) > 九頭竜 165.0mm 大飯 134.5mm 美山 117.5mm 小浜 116.5mm 敦賀 114.5mm 勝山 112.5mm 福井 107.5mm
2024 (令和6) 6.23	大雨	(1) 住家被害 床下浸水 6 棟 (2) 農林水産業施設 5,902 千円 (3) 公共土木施設 1,096,766 千円	日本海の低気圧からのびる前線が福井県に接近、通過。前線に向かって暖かく湿った空気も流入した影響で大気の状態が不安定となり、嶺北を中心に激しい雨となり、24 時間降水量は、福井、美山、勝山、武生、大野、九頭竜、今庄でこれまでの 6 月の 1 位を更新した。 <日最大 1 時間降水量> 美山 47.5mm 23 日 15 時 13 分 越廼 34.0mm 23 日 14 時 31 分 勝山 34.0mm 23 日 15 時 22 分 大野 31.5mm 23 日 15 時 29 分 福井 31.0mm 23 日 14 時 50 分 武生 30.0mm 23 日 15 時 07 分

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
			<p><日降水量(23日)></p> <p>九頭竜 197.5mm 美山 191.0mm 勝山 177.5mm 大野 176.0mm 武生 164.0mm 福井 148.0mm 今庄 147.5mm</p>
2024 (令和6) 8.25	大雨	(1)公共道木施設 44,358千円	<p>気圧の谷の影響で、本州付近は大気の状態が不安定となり、福井県内でも雷雨となった。</p> <p><日最大10分間降水量></p> <p>美山 10.5mm 25日 09時11分 大野 5.5mm 25日 08時14分 小浜 4.5mm 25日 14時08分</p> <p><日最大1時間降水量></p> <p>美山 12.5mm 25日 09時49分 大野 11.0mm 25日 08時57分 小浜 6.0mm 25日 14時57分</p>
2024 (令和6) 11.1～ 11.2	大雨	(1)公共土木施設 30,836千円	<p>2日は台風第21号から変わった低気圧や前線の影響で、大気の状態が非常に不安定となり福井県では昼頃を中心に大雨となった。</p> <p><日最大1時間降水量></p> <p>小浜 24.0mm 2日 12時34分 大飯 19.5mm 2日 12時21分 今庄 19.0mm 2日 13時05分 美浜 19.0mm 2日 13時03分 美山 18.5mm 2日 12時14分 越廼 17.5mm 2日 11時46分 福井 17.5mm 2日 12時07分</p> <p><期間降水量(1日～2日)></p> <p>今庄 95.5mm 美山 94.5mm 大飯 91.0mm 福井 90.0mm 三国 88.5mm 美浜 88.5mm 武生 86.0mm</p>
2024 (令和6) 12.16	大雪	(1)人的被害 軽傷 1人	<p>16日は冬型の気圧配置となり、大気の状態も不安定となっていた。</p> <p>(最深積雪最大値)</p> <p>大野 16cm 12月16日 九頭竜 27cm 12月16日</p>
2024 (令和6) 12.31	大雪	(1)人的被害 軽傷 1人	<p>31日は東北地方を東に進む低気圧からのびる寒冷前線が通過し、大気の状態も不安定となっていた。</p> <p>(最深積雪最大値)</p> <p>大野 36cm 12月31日 九頭竜 84cm 12月31日 今庄 16cm 12月31日</p>

第2章 令和6年の天候概況

1 天候の特徴

◇ 年(1月～12月)の概況

冬

1月は冬型の気圧配置や前線の影響により雨や雪の日が多く、特に下旬は上空の強い寒気の影響で大雪となった日があった。2月は冬型の気圧配置は長続きせず、低気圧や前線の影響で雨やみぞれとなった日が多くなった。また、暖かい空気が流れ込んだ時期があったため、気温がかなり高くなった。

春

3月～5月は高気圧に覆われ晴れた日もあったが、前線や低気圧、寒気の影響で、3月は曇りや雨、みぞれの日が多くなり、4月～5月は曇りや雨の日が多く、5月中旬～下旬には前線や湿った空気の影響で大雨となった日があった。また、4月の平均気温が、越廼を除く9つの観測地点で統計開始以降、最も高くなった。

夏

6月中旬までは高気圧に覆われ晴れの日もあったが、梅雨期間の6月下旬～7月は前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなり、大雨となった日もあった。また、6月23日には7つの観測地点で6月の日降水量の極値を更新した。8月は高気圧に覆われて晴れた日が多く、月の平均気温も、7つの観測地点で平年よりかなり高くなり、8月23日には春江で8月の日最高気温の極値を更新した。

秋

9月は高気圧に覆われ晴れて暑い日が多くなり、9月20日には8つの観測地点で猛暑日の最も遅い記録を更新した。10月～11月は高気圧に覆われ晴れた日もあったが、10月は湿った空気や低気圧の影響で雨や曇りの日が多くなり、11月は前線や気圧の谷、寒気の影響で雨や曇りの日が多くなった。

冬

12月は、冬型の気圧配置や朝鮮半島北部からのびる風の収束線の影響で雨や曇りの日が多く、下旬は強い寒気が流れ込んだ影響で、大雪となった所もあった。

官署	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 (℃)	平年差 (℃)	階級区分	本年 (mm)	平年比 (%)	階級区分	本年 (h)	平年比 (%)	階級区分
福井	16.4	1.6	かなり高い	2675.5	116	多い	1815.3	110	かなり多い
敦賀	17.1	1.5	かなり高い	2364.0	107	平年並	1723.2	108	多い

※平年差(比)は、平年値(1991年～2020年の30年平均値)から求めています。

◇ 梅雨入り・明け

梅雨入り		梅雨明け	
令和6年（注1）	平年	令和6年（注1）	平年
6月22日ごろ（+） ＊	6月11日ごろ	7月31日ごろ （+）	7月23日ごろ

（注1）梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現した。記号の意味は、（+）＊：かなり遅い、（+）：遅い、（0）：平年並、（-）：早い、（-）＊：かなり早い、の階級区分を表す。

◇ 台風

台風の年間発生数は平年並みの26個（平年値25.1個）となり、日本への接近数は平年並みの11個（平年値11.7個）、上陸数は2個（平年値3.0個）。北陸地方への接近数は1個（平年値2.8個）となった。

【台風発生数・上陸数】

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平年値
発生					2		2	6	8	3	4	1	26	25.1
上陸（注1）								2					2	3.0
北陸地方に接近した台風								1					1	2.8

（注1）「上陸」は台風の中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を指します。

※台風の中心が新潟県、富山県、石川県、福井県のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を「北陸地方に接近した台風」としています。

※接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しません。

2 月別気象概況

◇ 2024年 月別気象概況

1月

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、冬型の気圧配置や前線の影響により雨や雪の日が多くなった。特に下旬は上空の強い寒気の影響で大雪となった日があった。

平均気温は、春江、勝山、大野で平年より高く、その他の地点では平年よりかなり高くなった。

降水量は、春江で平年より多く、越廼、福井、美山、武生、大野で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、勝山、大野、美浜、小浜で平年より多く、その他の地点では平年よりかなり多くなった。

2月

冬型の気圧配置は長続きせず、暖かい空気が流れ込んだ時期があったため、気温がかなり高くなった。また、低気圧や前線の影響で雨やみぞれとなった日が多くなったが、高気圧に覆われ晴

れた日もあった。

平均気温は、全ての地点で平年よりかなり高くなった。

降水量は、三国、春江、越廼、勝山で平年より多く、小浜で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、小浜でかなり少なく、三国、越廼、福井、敦賀で平年より多くなり、その他の地点では平年並となった。

3月

低気圧と高気圧が交互に通る、天気は数日の周期で変わりましたが、低気圧や前線、寒気の影響で曇りや雨、みぞれの日が多くなった。

平均気温は、全ての地点で平年並となった。

降水量は、大飯で平年並、勝山、九頭竜で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、勝山、大野、今庄で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなった。

4月

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日もあった。

平均気温は、全ての地点で平年よりかなり高く、越廼を除く9地点で統計開始以降、最も高くなった。

降水量は、美山、大野で平年より少なく、美浜、大飯で平年よりかなり多く、三国、越廼、敦賀、小浜で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、三国、敦賀、美浜、小浜で平年並、その他の地点では平年より多くなった。

5月

前線や低気圧、寒気の影響で曇りや雨の日が多くなり、12日から13日、28日は前線や湿った空気の影響で大雨となった。

平均気温は、三国で平年より高く、その他の地点では平年並となった。

降水量は、全ての地点で平年より多くなった。

日照時間は、全ての地点で平年並となった。

6月

期間の中旬までは高気圧に覆われて晴れた日もあったが、梅雨入りした下旬は前線や低気圧の影響で雨や曇りの日が多くなった。23日には福井、美山、勝山、武生、大野、九頭竜、今庄で6月の日降水量の1位を更新した。

平均気温は、三国、春江、越廼、福井、美浜で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、美山で平年よりかなり多く、三国、春江、美浜で平年並となり、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、今庄、小浜で平年より多くなり、その他の地点では平年よりかなり多くなった。

7月

期間を通して梅雨前線や低気圧の影響により雨や曇りの日が多く、雷を伴った大雨の日もあった。

平均気温は、勝山、大野で平年より高く、その他の地点では平年よりかなり高くなった。

降水量は、小浜で平年よりかなり多く、武生、大野、九頭竜、今庄で平年並、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、全ての地点で平年並となった。

8月

期間を通して高気圧に覆われて晴れた日が多く、23日には春江で38.8℃を記録し8月の日最高気温の極値を更新した。

平均気温は、越廼、敦賀、小浜で平年より高く、その他の地点では平年よりかなり高くなった。

降水量は、小浜で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、小浜で平年より少なく、三国、福井で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

9月

期間を通して太平洋高気圧の勢力が強く、晴れて暑い日が多くなった。9月20日には県内8つの観測地点で猛暑日の最も遅い観測記録を更新した。

平均気温は、全ての地点で平年よりかなり高くなり、県内全ての観測地点で9月の月平均気温の極値を更新した。

降水量は、全ての地点で平年よりかなり少なくなり、三国、越廼、福井、勝山、美浜で月降水量の極値を更新した。

日照時間は、勝山で平年より多く、その他の地点では平年よりかなり多くなった。

10月

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、湿った空気や低気圧の影響で雨や曇りの日が多くなった。

平均気温は、全ての地点で平年よりかなり高くなり、越廼を除く県内9つの観測地点で10月の月平均気温(高い方から)の極値を更新した。また、10月23日には美浜で真夏日の最も遅い観測記録を更新した。

降水量は、越廼、敦賀で平年よりかなり多くなり、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、越廼、今庄、敦賀、美浜で平年並となり、その他の地点では平年より少なくなった。

11月

期間の前半を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、期間の後半は前線や気圧の

谷、寒気の影響で雨や曇りとなった日が多くなった。

平均気温は、越廼で平年並、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、春江、今庄でかなり多く、敦賀、美浜で平年並、その他の地点では平年より多くなった。また、11月2日には県内7地点で11月の日最大降水量の極値を更新した。

日照時間は、越廼、勝山、大野、今庄で平年並、その他の地点では平年より多くなった。

12月

冬型の気圧配置や低気圧の影響で雨や曇りの日が多く、下旬は強い寒気が流れ込んだ影響で、大雪となった所もあった。

平均気温は、三国、敦賀、美浜、小浜で平年並、その他の地点では平年より低くなった。

降水量は、美浜で平年より少なく、大飯、小浜で平年並、三国、越廼、武生、敦賀で平年より多く、その他の地点では平年よりかなり多くなった。

日照時間は、三国、福井、小浜で平年より少なく、その他の地点では平年よりかなり少なくなった。

第3章 防災訓練の実施状況

I 総合防災訓練

令和6年度福井県総合防災訓練を次のとおり実施した。

1 目的

災害対策基本法および福井県地域防災計画に基づき、防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう、訓練会場の特色を活かした実践的な防災訓練を行い、併せて住民の防災に対する意識の高揚を図ることを目的に実施した。

2 日時、場所

令和6年10月12日（土）8時30分～11時30分

■主訓練会場	小浜漁港（小浜市川崎）
■サテライト会場	若狭湾
	小浜市総合運動場（小浜市口田縄）
	若狭へりポート（小浜市高塚）
	県立大学小浜キャンパス（小浜市学園町）
	小浜市総合福祉センター（小浜市遠敷）

3 主催

福井県、小浜市

4 想定

福井県沖を震源とする震度6強の地震発生後、小浜市の沿岸部に最大3mの津波が到達

5 参加機関 約100機関（約1,600人）

（1）国の行政機関

東京管区气象台福井地方气象台、総務省北陸総合通信局、近畿地方整備局福井河川国道事務所、北陸地方整備局敦賀港湾事務所、近畿地方整備局舞鶴港湾事務所、敦賀海上保安本部、国土地理院北陸地方測量部

（2）自衛隊関係

自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第372施設中隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、航空自衛隊小松基地第6航空団、

(3) 警察関係

福井県警察本部、小浜警察署、中部管区警察局福井県情報通信部

(4) 消防関係

福井県消防長会、福井市消防局、嶺北消防組合消防本部、永平寺町消防本部、大野市消防本部、勝山市消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、南越消防組合消防本部、敦賀・美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、(公財)福井県消防協会、若狭消防組合小浜消防団

(5) 医療関係

(一社)福井県医師会、福井県看護協会、日本赤十字社福井県支部、福井県赤十字血液センター、敦賀医療センター、福井県立病院、福井県済生会病院、福井大学医学部付属病院、福井総合病院、福井勝山総合病院、市立敦賀病院、杉田玄白記念公立小浜病院、(公財)松原病院

(6) 交通運輸関係

福井県トラック協会、(一社)AZ-COM 丸和・支援ネットワーク

(7) ライフライン関係

関西電力送配電(株)、(一社)福井県LPガス協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、敦賀ガス株式会社、小浜市管工事業協同組合、(株)道端組、福井県石油業協同組合

(8) 報道関係

福井放送(株)、ケーブルテレビ若狭小浜

(9) 各種関係機関

西日本電信電話(株)福井支店、(株)NTTフィールドテクノ、KDDI(株)、ソフトバンク(株)、楽天モバイル(株)、(株)NTTドコモ、大塚製薬(株)、(一財)北陸電気保安協会福井地区本部、中日本高速道路株式会社金沢支社、一般社団法人福井県損害保険代理業協会、福井県建築工業会、福井県国際交流協会、小浜市国際交流協会、(一社)

福井県タクシー協会、認定NPO 法人日本レスキュー協会、小浜市赤十字奉仕団、(一社)
若狭地区建設業会

(10) 他県関係

岐阜県、富山県

(11) 地元地区関係

小浜市

6 主な訓練項目

- (1) 現地合同調整所運営訓練 (被害情報の収集、情報に基づく各機関との調整)
- (2) 合同救出救助訓練 (海上自衛隊、海上保安庁、警察、消防の連携による水難救助)
- (3) 避難所運営訓練 (LINEやマイナンバーカード等を活用した避難所受付)
- (4) 広域医療搬送訓練 (救急車およびヘリによる傷病者の搬送)
- (5) 救援物資輸送訓練 (陸海空での広域物資輸送)

令和5年度 福井県総合防災訓練 訓練項目

1 福井空港（エリアA）

No.	訓練項目
1	SCU設置運営訓練
2	広域物資搬送調整訓練
3	血液緊急輸送訓練 (岐阜県→福井空港)
4	広域物資搬送訓練 (県外→福井空港→福井埠頭㈱)

2 三国北小学校（エリアB）

No.	訓練項目
5	指定避難所開設運営訓練
6	住民避難訓練、避難誘導訓練
7	福祉アセスメント訓練
8	炊出し訓練
9	停電時電源応急対応訓練
10	避難所通信構築訓練
11	外国人避難訓練、外国人避難者支援訓練
12	広域物資搬送訓練 (福井埠頭㈱→三国北小学校)
13	要配慮者移送支援訓練 (三国北小→健康管理センター)

※その他、体験・展示あり

3 三国体育館駐車場（エリアC）

No.	訓練項目
14	現地合同調整所（陸上）設置運営訓練

15	災害情報広報訓練
16	交通規制訓練
17	吊り上げ救助訓練
18	ヘリ・ドローン・オフロードバイク等による被害状況確認および情報伝達訓練
19	架橋訓練
20	道路啓開訓練
21	土砂埋没家屋救助訓練
22	水防訓練① (排水ポンプ車)
23	水防訓練② (軽量土のう積み)
24	多数傷病者対応訓練
25	列車事故救助訓練
26	中高層建物救助訓練
27	血液緊急輸送訓練 (福井空港→三国体育館駐車場)
28	ドローンによる物資搬送訓練
29	LPガス漏洩緊急出動・応急処置訓練
30	水道管復旧訓練
31	火災防ぎょ訓練
32	各種体験・展示

4 三国運動公園陸上競技場（エリアD）

No.	訓練項目
33	広域物資搬送訓練 (県外→三国運動公園陸上競技場)
34	広域医療搬送訓練

5 三国運動公園健康管理センター（エリアE）

No.	訓練項目
35	福祉避難所開設運営訓練
36	要配慮者避難訓練
37	保健所運営訓練
38	広域物資搬送訓練 (福井埠頭(株)→健康管理センター)
39	要配慮者移送支援訓練 (三国北小→健康管理センター)

6 三国サンセットビーチ (エリアF)

No.	訓練項目
40	現地合同調整所(海上)設置運営訓練
41	複数ドローンによる被害状況確認および映像伝送訓練
42	要救助者海面救助訓練
43	船上要救助者救出訓練
44	要救助者水中検索救助訓練

7 福井港 (エリアG)

No.	訓練項目
45	地域内輸送拠点開設運営訓練
46	広域物資搬送訓練 (県外港→福井港→福井埠頭(株))

8 その他

47	石油燃料供給訓練
----	----------

令和6年度福井県原子力総合防災訓練 実施結果

1 目 的

福井県地域防災計画（原子力災害対策編）および大飯地域の緊急時対応に基づき、国、関係県、関係市町、防災関係機関および地域住民が一体となった原子力総合防災訓練を実施し、国、地方公共団体、原子力事業者、関係機関における初動対応の確立、防災体制の確認、住民避難体制や緊急時医療措置等の災害対策の習熟、原子力災害対策に係る要員の技能の習熟および原子力防災に関する住民理解の促進を図ることを目的とする。

2 実施時期

令和6年10月25日（金） 8：30～15：30
10月26日（土） 8：00～15：00

3 対象発電所

関西電力株式会社 大飯発電所

4 場所

おおい町、小浜市、高浜町、若狭町、美浜町の訓練実施市町

5 訓練参加数

（機 関） 約100機関 約2,000人
（住 民） 避難訓練参加 約 630人
屋内退避参加 約6,000人

6 事故想定

大飯発電所3号機において、福井県嶺南地域を震源とした地震による外部電源喪失後、原子炉冷却材の漏えいが発生。さらに設備故障等により非常用炉心冷却装置による原子炉への全ての注水が不能となり、全面緊急事態となる。

7 参加・協力機関（順不同）

（1）指定行政機関

内閣府、原子力規制委員会 等

（2）指定地方行政機関

気象庁福井地方气象台、近畿地方整備局福井河川国道事務所、海上保安庁第八管区海上保安本部、敦賀海上保安部、小浜海上保安署、陸上自衛隊中部方面総監部、陸上自衛隊第10師団司令部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第10飛行隊、陸上自衛隊第372施設中隊、陸上自衛隊水陸機動団、海上自衛隊舞鶴地方総監部、海上自衛隊第1輸送隊、海上自衛隊第23飛行隊、航空自衛隊中部航空方面隊、航空自衛隊小松救難隊、自衛隊福井地方協力本部 等

（3）指定公共機関

日本原子力研究開発機構 等

(4) 自治体関係

福井県、京都府、滋賀県、兵庫県、関西広域連合

福井県おおい町、小浜市、高浜町、若狭町、美浜町、敦賀市、大野市、鯖江市、越前市、越前町

兵庫県伊丹市、川西市、宝塚市、三田市、猪名川町

(5) 警察関係

福井県警察本部、小浜警察署 等

(6) 消防関係

若狭消防組合消防本部、福井市消防局等

(7) 学校関係

福井県教育委員会、おおい町教育委員会、小浜市教育委員会、高浜町教育委員会、若狭町教育委員会、美浜町教育委員会 等

(8) 医療機関関係

(一社)福井県医師会、(一社)福井県薬剤師会、(公社)福井県診療放射線技師会、福井赤十字病院、福井県立病院、福井大学医学部附属病院 等

(9) 福祉関係

医療法人敦賀温泉病院、社会福祉法人積心会、社会福祉法人友愛会、社会福祉法人光道園 等

(10) 交通運輸関係

(公社)福井県バス協会、(一社)福井県トラック協会、中日本高速道路(株)金沢支社、西日本高速道路(株)関西支社 等

(11) 漁業関係

大島漁業協同組合、若狭高浜漁業協同組合、小浜市漁業協同組合 等

(12) その他

(株)NTTドコモ北陸支社、ソフトバンク(株)、楽天モバイル(株)、

(株)コネクター・ジャパン、(株)サイバーエージェント、(株)AI SHIFT、

北陸地方非常通信協議会、大塚製薬(株)、(株)バロー、福井県民生活協同組合 等

(13) 原子力事業者関係

関西電力(株)、日本原子力発電(株)、日本原子力研究開発機構、関電プラント(株) 等

8 住民参加

OPAZ 57人

避難元		避難先		人数
おおい町	在宅	敦賀市	あいあいプラザ	3人
	一般	(孤立地域からの 搬送訓練)	はまかぜ交流センター（ヘリ） → 和田マリーナ → 川西市立けやき坂小学校	3人
			大島漁港（船舶・遊漁船）→ うみんぴあ大飯 → 川西市立けやき坂小学校	20人
			はまかぜ交流センター（高機動車） → 和田マリーナ → 川西市立けやき坂小学校	12人
小浜市	在宅	敦賀市	あいあいプラザ	3人
	一般	(孤立地域からの 搬送訓練)	泊ヘリポート（ヘリ）→ 若狭ヘリポート	3人
			泊漁港（船舶・遊漁船）→ 西津漁港	13人

OUPZ 572人

避難元		避難先		人数
おおい町	一般	兵庫県伊丹市	伊丹市立笹原小学校	63人
		兵庫県川西市	川西市立けやき坂小学校	41人
	外国人	おおい町	ふるさと交流センター（一時集合施設まで）	12人
小浜市	一般	鯖江市	鯖江市東陽中学校	76人
		越前市	越前市南越中学校	72人
	福祉施設	鯖江市	第三やすらぎの郷 → 光道園ライフトレーニングセンター	4人
高浜町	一般	兵庫県宝塚市	宝塚総合福祉センター	50人
		兵庫県三田市	兵庫県立三田西陵高等学校	40人
		兵庫県猪名川町	猪名川町文化体育館	10人
		(孤立地域からの 搬送訓練)	関電音海駐車場（ヘリ）→ 高浜町立野球場 → 兵庫県立三田西陵高等学校	3人
			音海漁港（ゴムボート）→ 海自掃海艇 → 海上自衛隊舞鶴基地	11人
			上瀬漁港（遊漁船）→ 海自掃海艇 → 海上自衛隊舞鶴基地	5人
			日引漁港（ヘリ）→ 高浜町立野球場 → 兵庫県立三田西陵高等学校	2人
若狭町	一般	越前町	越前町立朝日中学校	68人
		(孤立地域からの 搬送訓練)	常神漁港（船舶）→ 敦賀港	3人
	福祉施設	越前町	ゆなみ → 丹生ケアセンターひまわり荘	4人
美浜町	一般	大野市	富田公民館	108人

PAZ・UPZ 総計		629人
屋内退避		6,000人
参加住民		6,629人

9 訓練項目

(1) 緊急時通信連絡訓練

- ア 発電所から事故状況の通報連絡
- イ 国から県および関西広域連合、関係市町への通報連絡、避難指示等の伝達
- ウ 県、関係市町から自衛隊、海上保安庁、警察、消防、その他関係機関への通報連絡
- エ 事故発生から応急処理、復旧までの通信伝達、収受等
- オ 携帯型映像伝送装置等を利用した画像伝送
- カ 北陸地方非常通信協議会等による情報伝達

(2) 災害対策本部等運営訓練

- ア 福井県庁、各市町庁舎、福井県大飯原子力防災センターに災害対策本部等の設置・運営、情報収集・連絡体制を構築
- イ 災害対策本部等による住民に対する情報提供の実施
(ケーブルテレビ、防災行政無線屋外拡声器、個別受信機、緊急情報メール、スマートフォンアプリ等による地域住民・立入者等への広報)
- ウ テレビ会議システム等を活用し災害対策本部と現地災害対策本部との対策会議等の実施

(3) 原子力防災センター運営訓練

- ア 福井県大飯原子力防災センターへの要員派遣
- イ 現地事故対策連絡会議、原子力災害合同対策協議会の開催(防護措置方針の決定等)
- ウ 各機能班の活動
- エ 県および市町現地災害対策本部等と各機能班との連携
- オ 住民等の避難状況の確認
- カ 防護措置方針に基づいた応急対策(避難先等の決定、避難手段の確保など)

(4) 住民避難訓練

- ア 県内外の避難先施設への避難(避難経路、避難時間の検証)
県内避難 369人(PAZ:22人、UPZ:347人)
県外避難 260人(PAZ:35人、UPZ:225人)
- イ 自衛隊車両、民間バス、自家用車による住民等の陸路からの避難
陸上自衛隊高機動車3台、福井県バス協会バス36台、兵庫県内バス会社バス4台、自家用車43台
- ウ 自衛隊等のヘリコプターによる住民等の空路からの避難
陸上自衛隊ヘリ 1機、海上自衛隊ヘリ 1機、航空自衛隊ヘリ 1機、県防災ヘリ 1機
- エ 海上保安庁、自衛隊、民間の船舶による住民等の海路からの避難
海上自衛隊船舶 1隻、海上自衛隊ゴムボート 2隻、海上保安庁船舶 2隻、地元漁協遊漁船 4隻
- オ 避難車両中継所における自衛隊車両等から民間バスへの乗継
- カ 消防団等による自家用車避難済み住民等の確認

(5) 避難所開設運営訓練

- ア 避難所の設置運営
- イ 避難者受入マニュアルに基づく受入訓練の実施
- ウ 避難元、避難先自治体における情報伝達の確認
- エ 避難者の受付（避難退域時検査受検の有無の確認も含む）
- オ 避難先施設における避難者への健康状態の確認
- カ 災害時応援協定に基づく物資の調達、搬送
- キ 飲料水・飲食物の供給
- ク 避難時における避難住民への事故状況等説明の実施

(6) 避難行動要支援者避難訓練

- ア 児童園児の保護者への引渡し
- イ 引渡しできなかった児童園児は、職員と共に避難先施設等まで避難
- ウ 福祉施設入所者の避難先施設への搬送等
 - 小浜市 1施設（第三やすらぎの郷）
 - 若狭町 1施設（ゆなみ）
- エ 在宅避難行動要支援者の避難先施設（福祉避難所等）への搬送
 - おおい町、小浜市：敦賀市あいあいプラザ
- オ 福祉施設、原子力事業者が保有する福祉車両による搬送
 - 福祉車両 6台
- カ 避難先施設における避難者への健康状態の確認

(7) 原子力災害医療措置訓練

- ア 福井県緊急時医療本部等の設置・運営
- イ 避難経路上における安定ヨウ素剤の配布
 - (1) 一時集合場所におけるバス車内での配布
 - 配布場所および配布数（11箇所、447人）
 - （ふるさと交流センター、里山文化交流センター、おおい町総合町民福祉センター、口名田コミュニティセンター、今富小学校、青郷公民館、内浦公民館、高浜町中央体育館、高浜小学校、エルどらんど、気山小学校、美浜西小学校、北西郷公民館）
 - (2) 自家用車に対するドライブスルー方式の配布
 - 配布場所および配布数（4箇所、112人）
 - （ふるさと交流センター、高浜町保健福祉センター、福井県若狭合同庁舎、美浜西小学校）
- ウ 避難退域時検査および簡易除染の実施
 - 実施場所および対象数等（2か所、566人）
 - （敦賀市総合運動公園、あやべ球場）
- エ 原子力事業者、原子力災害医療協力機関の参画
- オ 自衛隊による避難退域時検査、車両除染の実施

(8) 屋内退避訓練

- ア UPZ内住民による自宅等での屋内退避行動（戸締、情報収集等）の実施
- イ 避難に備え、非常用持出品（保険証、常備薬等）の準備
- ウ 屋内退避の意義等の理解促進活動の実施

(9) 複合災害対応訓練

- ア 複合災害時における防災関係機関間の情報伝達、対応要請の確認
- イ 自衛隊、海上保安庁による住民避難の支援

(10) 緊急時モニタリング訓練

- ア 緊急時モニタリングセンター等の設置・運営
- イ 緊急時モニタリング実施計画、緊急時モニタリング指示書の作成
- ウ 固定観測局および電子線量計観測局を活用したUPZ内の線量率の測定
- エ モニタリングカー、サーベイメータを活用した避難範囲の特定のための線量率の測定
- オ 放射線モニタリング情報共有・公表システム（ラミス）を用いた関係機関との情報共有
- カ 固定観測局等のバックアップとしての可搬型モニタリングポストの設置および測定
- キ 環境試料の採取、受入
- ク 福井県モニタリング本部（高浜原子力防災センター）の設置・運営および後方支援
- ケ 原子力事業者間の相互応援による職員派遣および資機材の提供
- コ モニタリング要員被ばく管理および資機材等の汚染管理

(11) 自衛隊災害派遣運用訓練

- ア 福井県大飯原子力防災センターへの連絡要員の派遣
- イ 住民の避難支援【再掲】
- ウ 避難退域時検査、車両除染の支援【再掲】

(12) 交通対策等措置訓練

- ア 主要交差点等における渋滞抑制対策の実施
〔実施場所〕
小浜市 1箇所（小浜市岡津交差点）
おおい町 1箇所（おおい町青戸の大橋交差点）
- イ 道路管理者による道路点検の実施
- ウ 福井県警察本部の四輪駆動車等による避難地域の情報収集活動
- エ 立入制限措置
- オ 警察による避難退域時検査場所周辺道路における交通誘導

(13) 発電所事故制圧訓練

- ア 緊急時活動レベル（EAL）による通報連絡訓練
- イ 本店および発電所における緊急時対策本部設置・運営
- ウ ERCとの連携
- エ 発電所における重大事故等発生時の対応
- オ 原子力緊急事態支援組織の参画
- カ 現地支援拠点等の支援体制の確立

Ⅲ 過去5年間の総合防災訓練等の実施状況

種別	年度	令和元	2	3	4	5
総合防災訓練	日 時	令和2年11月14日(土)	令和3年11月13日(土)	令和4年10月8日(土)	令和5年10月7日(土)	令和6年10月12日(土)
	場 所	栗野スポーツセンター	鯖江市日野川河川敷	九頭竜川河川敷、勝山市体育館	三国体育館 他	小浜漁港 他
	主 催	福井県、敦賀市	福井県、鯖江市	福井県、勝山市	福井県、坂井市	福井県、小浜市
	参加機関	90	100	100	100	100
	訓練種目	45	50	43	48	43
	想 定	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害	津波を含む地震災害	地震と津波による災害
	参加人員	700	1,050	1,150	1,300	1,600
石油コンビナート等 総合防災訓練	日 時	未開催	未開催	未開催	令和4年10月23日(日)	
	場 所				福井臨海地区石油コンビナート等特別防災区域およびその周辺海域	
	主 催				福井県石油コンビナート等防災本部	
	参加機関				18	
	訓練種目				28	
	想 定				地震と津波によるコンビナート災害	
	参加人員				約300	
原子力防災訓練 (総合訓練)	日 時	令和2年8月27日(木)	令和3年10月29日(金)、30日(土)	令和4年11月4日(金)～6日(日)	令和5年10月20日(金)、21日(土)	令和6年10月25日(金)、26日(土)
	訓練対象施設	関西電力(株)大飯発電所、高浜発電所	関西電力(株)美浜発電所	関西電力(株)美浜発電所	関西電力(株)高浜発電所	関西電力(株)大飯発電所
	主 催	福井県	福井県	福井県	福井県	福井県
	参加機関	40	100	150	100	100
	訓練種目	10	13			
	想 定	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出
	参加人員	約50	約320	約650	約620	約630

IV 市町別自主防災組織の結成状況

令和6年4月1日現在

	管内世帯数 (A)	自主防災組織 の組織数	隊員数	組織されている 地域の世帯数 (B)	組織率 (カバー率) (B/A)
福 井 市	107,583	1,192	75,411	105,770	98.3%
敦 賀 市	29,122	89	2,225	26,351	90.5%
小 浜 市	12,227	115	1,422	11,055	90.4%
大 野 市	11,618	172	5,896	11,133	95.8%
勝 山 市	6,984	118	1,158	6,758	96.8%
鯖 江 市	25,711	160	4,408	25,646	99.7%
あ わ ら 市	10,375	110	4,286	9,838	94.8%
越 前 市	31,826	239	80,124	31,826	100.0%
坂 井 市	32,963	328	4,557	25,302	76.8%
永 平 寺 町	6,578	89	3,621	6,578	100.0%
池 田 町	886	19	128	692	78.1%
南 越 前 町	3,361	72	1,019	3,296	98.1%
越 前 町	7,301	68	1,663	5,630	77.1%
美 浜 町	3,614	23	6,921	2,822	78.1%
高 浜 町	4,290	44	687	3,464	80.7%
お お い 町	3,249	48	2,419	2,419	74.5%
若 狭 町	4,943	87	1,194	4,646	94.0%
合計・ 平均	302,631	2,973	197,139	283,226	93.6%

管内世帯数：住民基本台帳法に基づく人口、世帯数調べ（令和6年4月1日現在）

隊 員 数：自主防災組織の組織編成において隊員または班員等に位置づけられている実働隊員の総数（令和6年4月1日現在）

第4章 防災行政無線利用状況

1 無線局の現況

防災行政無線局等一覧（令和7年4月1日現在）

〔固定系〕

区 分		局数		設 置 場 所
		多重系	衛星系	
統 制 局		1	1	県庁
中 継 局		7		越知山（越前町大谷寺） 久須夜ヶ岳（小浜市堅海） 村国山（越前市村国町） ハツ杉（越前市別印町） 勝山（勝山市村岡町） 岳山（美浜町早瀬） 青葉山（高浜町中山）
支 部 局		7	7	7 土木（福井、三国、奥越、丹南、鯖江丹生、敦賀、小浜）
合 庁 局		1	1	1 合同庁舎（福井）
ダ ム 管 等 局		12		原子力センター 龍ヶ鼻ダム管※、龍ヶ鼻ダム下流連絡所※、永平寺堰堤※ 笹生川ダム管、笹生川堰堤※、浄土寺川堰堤※ 広野ダム管、広野堰堤※、榎谷堰堤※ 大津呂堰堤※、河内川堰堤※ ※水防無線局を含む
小 計		28	9	
端 末 局	県出先機関		13	健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭）、 県立病院、福井港湾、敦賀港湾、 衛生環境センター、防災航空事務所※ 坂井上水、日野川上水 ※福井空港は、併設局（防災航空隊）と共用
	市 町		17	9 市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 8 町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
	消防本部		7	7 消防本部 福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、南越、若狭 ※鯖江丹生消防・敦賀美方消防は併設局（鯖江市・敦賀市）と共用
	国・公共機 関等		19	福井气象台、鯖江自衛隊、舞鶴自衛隊、敦賀海保、福井海保 日赤福井、福井県医師会、福井火力、福井石油備蓄、原電敦賀 関電美浜・高浜・大飯、ふげん、もんじゅ オフサイトセンター（敦賀、美浜、大飯、高浜）
	小 計		56	
可 搬 型 地 球 局			3	
合 計		28	68	

〔移 動 系〕

区 分		局 数	設 置 場 所
陸 上 基 地 局	全 県 移 動 260MHzデジタル	11	県庁統制局 中継局（越知山、久須夜ヶ岳、陣ヶ岡、村国山、岳山、青葉山、 ハツ杉、勝山） 土木事務所（敦賀） 笹生川ダム管
	F W A（18GHz）	1	坂井合同庁舎
	計	12	
航 空 局		6	防災航空事務所（可搬用含む）
陸 上 移 動 局	全県移動局 260MHzデジタル	車載型 46	県庁 3 台 土木事務所 42台（福井6台、三国6台、奥越7台、丹南7台、鯖江丹生6台、 敦賀4台、小浜6台） 防災航空事務所
		半固定型 38	県出先機関 8 台：健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭） 県立病院、防災航空事務所
			9 市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井
			8 町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
			9 消防本部：福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭
			4 防災関係機関：NHK福井、福井放送、福井テレビ、FM福井
		携帯型 70	県庁 30台、敦賀土木 20台、小浜土木 20台
		携帯型(他機関) 44	原子力センター 3 台、地域医療課 41台
		小 計 198	
	F W A（18GHz）	1	陣ヶ岡中継局
	消 防 移 動 局	車載型 1	防災航空事務所
		携帯型 10	県庁 1台、防災航空事務所 9台
		小 計 11	
	防 災 移 動 局	携帯型 5	防災航空事務所、400MHz 防災相互
	計	215	
携 帯 局（ヘリ用）		消防用 2	防災ヘリコプター
航 空 機 局		航行運航用 1	
ヘ リ サ ッ ト 局	携帯基地地球局	固定型 1	県庁局
	ヘリコプター局	ヘリ搭載型 1	防災ヘリコプター
	計	2	
合 計		238	

2 利用状況

(1) 一般通話の利用状況

令和6年中

区 分	一 年 間 の 総 計	一 カ 月 当 た り の 平 均 使 用 回 数	一 局 当 た り の 月 平 均 使 用 回 数
支 部 ・ 合 庁 局	1 7 4 , 9 1 7	1 4 , 5 7 6	(9 局) 1 , 6 2 0
ダ ム 管 等 局	7 , 6 4 3	6 3 7	(1 1 局) 5 8
県 出 先 機 関	3 , 9 8 9	3 3 2	(1 4 局) 2 4
市 町	3 1 2	2 6	(1 7 局) 1 . 5
消 防 本 部	1 4 5	1 2	(9 局) 1 . 3
国 出 先 機 関	5 7	4 . 8	(5 局) 1 . 0
公 共 機 関	5 1	4 . 3	(9 局) 0 . 5
原 子 力 発 電 所 等	7 5	6 . 3	(1 0 局) 0 . 6
合 計	1 8 7 , 1 8 9	1 5 , 5 9 9	(8 4 局) 1 8 6

(2) 一斉指令の利用状況

[指令内容別]

令和6年中

区 分	気 象 関 係				事務連絡	テスト	合 計
	警 報	注意報	情 報	計			
指 令 回 数	5 2	1 , 5 0 1	8 9 2	2 , 4 4 5	5 9 5	2 5	3 , 0 6 5
前年比 (%)	2 6	9 3	9 7	8 9	8 5	6 8	8 8

[指令種類別]

令和6年中

区 分	全 県	県出先	市 町	消 防	その他	合 計
指 令 回 数	2 , 7 8 8	2 5	2 5 9	2 4 1	0	3 , 3 1 3
前年比 (%)	8 8	9 3	8 6	8 7	0	8 8

(3)一斉指令月別通信回数

令和6年中

区分 \ 月			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
内容別	象 関 係	警 報	16	0	2	0	0	16	16	0	0	0	2	0	52
		注 意 報	159	106	112	104	114	88	212	80	68	106	152	200	1501
		情 報	159	79	74	32	29	36	166	61	41	31	73	111	892
		小 計	334	185	188	136	143	140	394	141	109	137	227	311	2445
		事 務 連 絡	67	48	51	49	55	57	43	41	30	43	59	52	595
		テ ス ト	4	5	0	0	2	0	0	6	2	2	2	2	25
		計	405	238	239	185	200	197	437	188	141	182	288	365	3065
	種 類 別	全 県	375	227	226	183	187	183	352	155	125	164	268	343	2788
		県 出 先	0	3	0	0	1	9	5	1	2	2	1	1	25
		市 町	31	8	14	2	13	8	81	32	14	16	19	21	259
		消 防	27	6	14	2	11	8	79	30	14	12	18	20	241
		そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	433	244	254	187	212	208	517	218	155	194	306	385	3313

備考)市町と消防へ一括して一斉指令した場合は、市町と消防の種類別において、それぞれ回数を計上

3 多重局通信回数集計表

令和6年中

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	計
福井支部	1,316	1,400	1,375	1,775	1,507	1,389	1,210	819	903	1,195	947	1,046	14,882
三国支部・坂井合庁	2,124	1,730	1,885	2,444	2,060	2,020	1,928	1,561	1,480	1,633	1,597	1,430	21,892
奥越支部・奥越合庁	1,742	1,755	1,912	2,162	1,793	1,718	1,615	1,239	1,408	1,467	1,395	1,176	19,382
勝山中継局 ^(注1)	262	190	216	196	175	149	149	92	122	146	102	126	1,925
丹南支部・南越合庁	2,484	2,509	2,876	2,955	2,676	2,639	2,607	1,984	2,106	2,458	2,332	2,098	29,724
鯖江丹生支部	584	739	868	841	679	710	809	449	572	637	566	531	7,985
敦賀支部・敦賀合庁	1,605	1,695	1,812	2,543	2,057	1,902	1,982	1,669	1,640	1,780	1,462	1,440	21,587
小浜支部・若狭合庁	2,245	2,416	2,724	3,579	2,932	2,623	2,800	2,174	2,411	2,511	2,422	2,069	30,906
福井合庁	2,287	2,436	2,611	2,809	2,400	2,338	2,458	1,753	1,855	2,094	1,782	1,811	26,634
原子力センター	218	285	308	329	327	296	273	188	276	345	266	298	3,409
笹生川ダム管	91	87	111	117	130	113	56	49	45	59	66	38	962
笹生川堰堤	0	0	0	0	2	7	1	0	1	7	9	0	27
浄土寺川堰堤	0	0	12	0	4	0	0	0	0	4	1	0	21
広野ダム管	152	169	216	269	336	206	213	135	169	187	135	164	2,351
広野堰堤	4	14	3	2	2	16	5	5	8	18	9	32	118
榑谷堰堤	4	12	5	6	4	18	3	7	10	9	8	12	98
龍ヶ鼻ダム管、永平寺堰堤	58	69	47	55	71	75	36	24	14	54	29	38	570
大津呂ダム管	0	0	0	0	27	10	4	0	0	9	12	0	62
河内川堰堤	0	0	0	2	0	9	1	0	3	2	2	6	25
計	15,176	15,506	16,981	20,084	17,182	16,238	16,150	12,148	13,023	14,615	13,142	12,315	182,560

(注1) 恐竜博物館への通信を含む

※土木事務所(支部局)と合同庁舎が隣接している局については、合算している。

4 端末局無線通信回数調

令和6年中

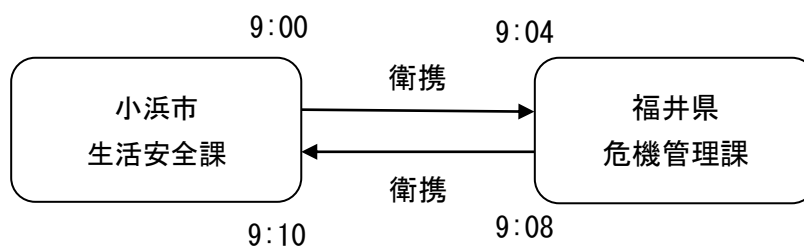
無 線 局	通 信 回 数	無 線 局	通 信 回 数	無 線 局	通 信 回 数
福 井 市	19	福 井 消 防	15	福 井 気 象 台	28
敦 賀 市	13	大 野 消 防	18	鯖 江 自 衛 隊	7
小 浜 市	17	勝 山 消 防	24	舞 鶴 自 衛 隊	4
大 野 市	24	永 平 寺 消 防	17	敦 賀 海 保	10
勝 山 市	23	嶺 北 消 防	14	福 井 海 保	8
鯖 江 市	21	鯖江丹生消防	18	国 出 先 計	57
あ わ ら 市	14	南 越 消 防	12	福 井 駅	0
越 前 市	12	敦賀美方消防	14	N H K 福 井	3
坂 井 市	17	若 狭 消 防	13	福 井 テ レ ビ	4
市 計	160	消 防 計	145	福 井 放 送	3
永 平 寺 町	21	福 井 保 健	21	F M 福 井	5
池 田 町	25	若 狭 保 健	24	日 赤 福 井	7
南 越 前 町	15	二 州 保 健	72	福 井 県 医 師 会	6
越 前 町	19	丹 南 保 健	890	福 井 火 力	6
美 浜 町	20	坂 井 保 健	35	福 井 備 蓄	17
若 狭 町	16	奥 越 保 健	37	公 共 機 関 計	51
お お い 町	19	衛生環境センター	1,190	原 電 敦 賀	9
高 浜 町	17	県 立 病 院	21	関 電 美 浜	10
町 計	152	防 災 航 空 隊	14	関 電 大 飯	6
市 町 計	312	福 井 港 湾	272	関 電 高 浜	6
		敦 賀 港 湾	466	原子力機構ふげん	7
		福 井 空 港	905	原子力機構もんじゅ	10
		坂 井 上 水	6	敦賀オフサイト	9
		日 野 川 上 水	36	美浜オフサイト	6
		県 出 先 計	3,989	大飯オフサイト	6
				高浜オフサイト	6
				原子力発電所等計	75
				合 計	4,629

※衛星回線による、端末局同士の通信回数はカウントされていない

5 非常通信訓練実施状況

(1) 令和6年度福井県総合防災訓練における非常通信訓練（令和6年10月11日）

- ・小浜市役所から福井県あて往復信

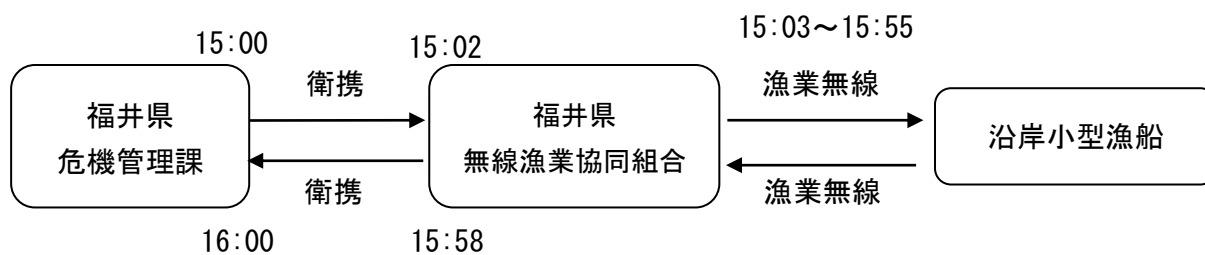


(参考)

- ・ 衛携：衛星携帯電話

(2) 原子力総合防災訓練における非常通信訓練（令和6年10月25日）

- ・ 福井県から沿岸の船舶に向けて情報発信

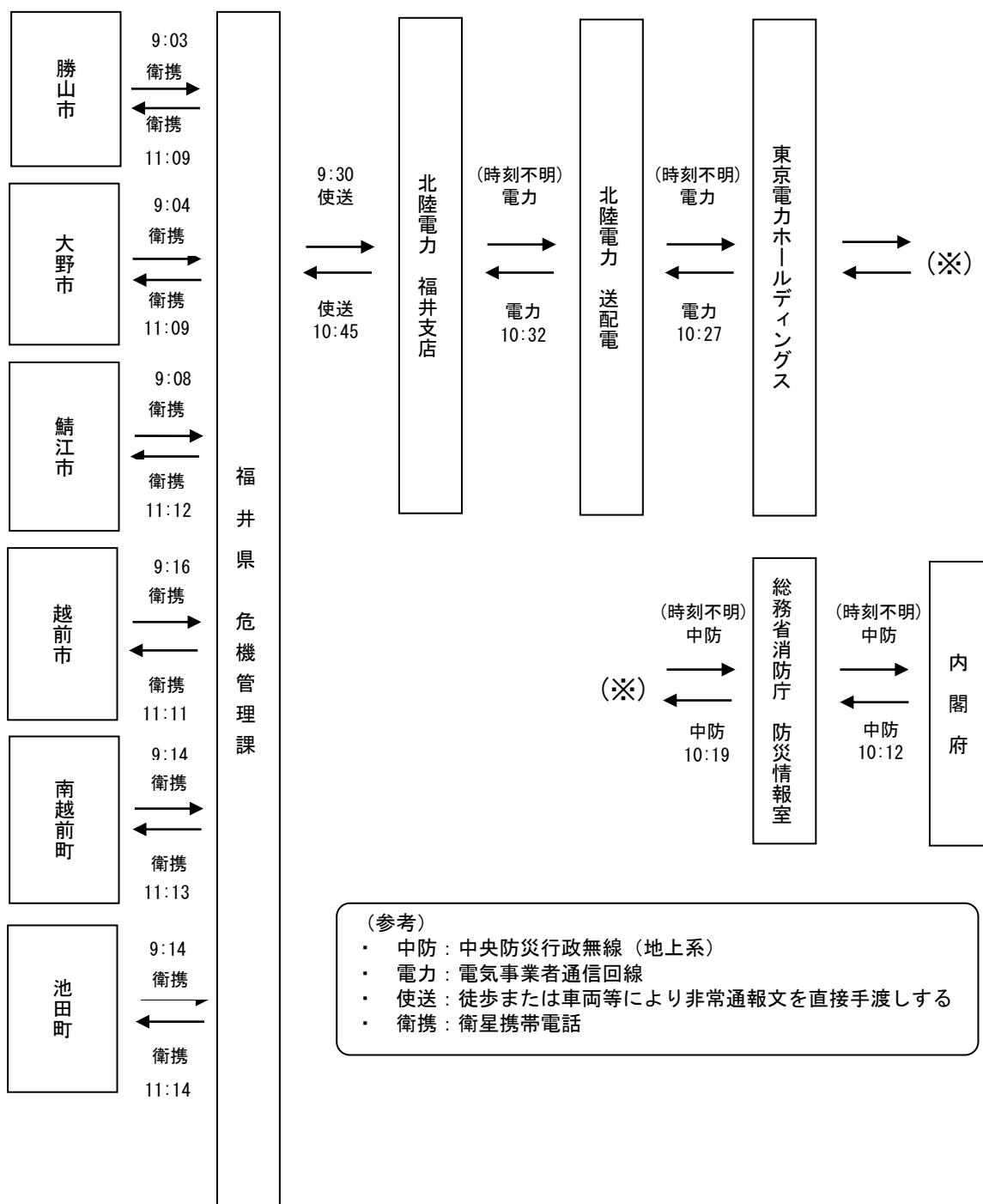


(参考)

- ・ 衛携：衛星携帯電話

(3) 第86回全国非常通信訓練(令和6年11月13日)

- ・嶺北北部地方の各市町から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信。市町～県庁間は衛星携帯電話(ワイドスターⅡ)、県庁～北陸電力福井支店は使送、北陸電力福井支店～東京電力は電力ルート、東京電力～内閣府間は中央防災無線を使用。

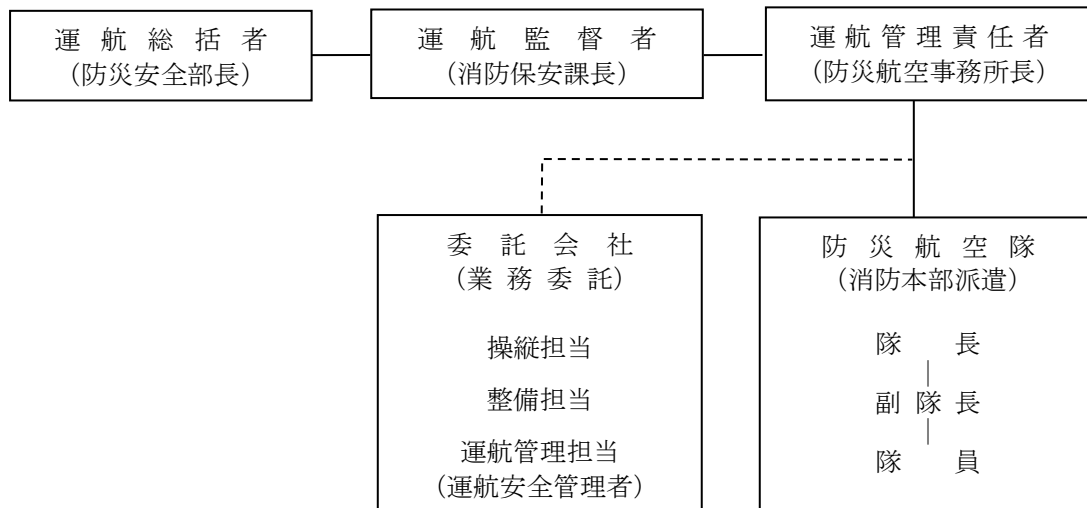


第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1 運 航 基 地

福井県防災航空事務所（福井空港内）

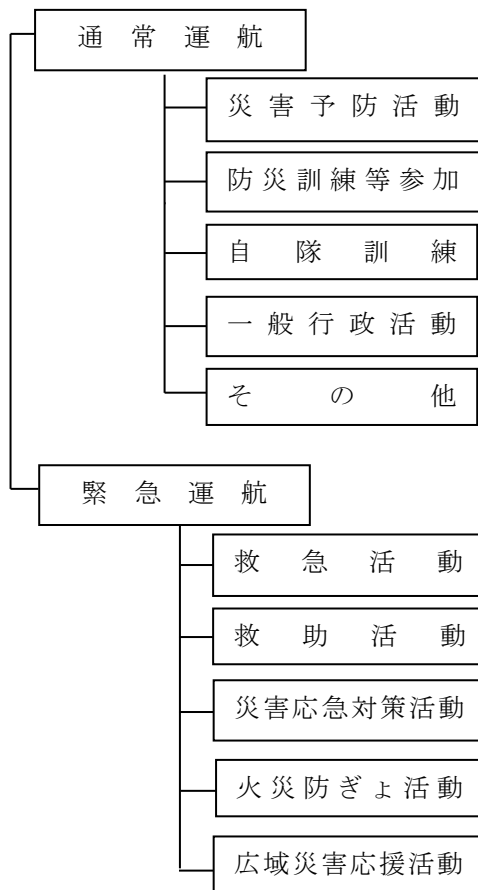
2 組 織 図



3 運 航 時 間

毎日、午前8時30分から午後5時15分まで
(ただし、緊急運航の場合は日の出から日没まで)

4 活 動 業 務



Blue Arrow 主要性能

機種	川崎BK117C-2
メーカー（製造国）	川崎重工業（日本）
エンジン最大出力	1,384 SHP
エンジン基数	2基
搭乗人員	11人
最大全備重量	3,585 kg
最大搭載可能重量	1,715 kg
航続距離	685 km
ホイスト装置	270 kg
貨物吊り下げ装置	1,500 kg
全長	13.03 m
全高	3.95 m
最大速度	278 km/h
航続時間	約3.5 h
着陸方式	スキッド式

第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）

令和7年3月31日現在

区 分		緊 急 運 航						通 常 運 航								合 計
		救急	救助	災害応急	火災防衛	広域災害 応援	計	自隊訓練	連携訓練	防災訓練 参加	災害予防活動		一般行政	整備	その他	
											危険箇所	災害予防				
平成23年度	件数	25	26	4	1	6	62	125		39		4	4	3	4	241
	時間	10:01	10:46	4:03	3:19	11:09	39:18	151:46		29:10		16:10	5:08	5:23	3:31	250:26
平成24年度	件数	25	24		1	11	61	162		39		3	1	5	5	276
	時間	13:51	18:31		0:52	13:25	46:39	183:11		27:30		11:08	1:40	7:41	2:03	279:52
平成25年度	件数	29	23	9		12	73	158		33		3	1	5	4	277
	時間	15:24	19:33	13:12		13:28	61:37	184:16		21:18		11:11	1:40	5:54	4:05	290:01
平成26年度	件数	28	29			12	69	139		33	1	3	4	8	8	265
	時間	12:35	20:32			12:35	45:42	146:21		26:36	1:43	11:43	2:16	8:02	5:26	247:49
平成27年度	件数	36	36			6	78	162		40			2	6	3	291
	時間	19:30	26:08			9:38	55:16	174:09		25:37			2:24	4:16	2:37	264:19
平成28年度	件数	37	31			10	78	142		40			2	9	2	273
	時間	20:50	30:03			14:41	65:34	152:04		29:34			3:17	10:26	1:21	262:16
平成29年度	件数	28	40		1	14	83	152		27			1	7	3	273
	時間	15:55	29:37		1:04	14:55	61:31	159:41		20:22			1:26	5:06	1:34	249:40
平成30年度	件数	21	18	1	1	21	62	176		32				8	4	282
	時間	15:19	9:26	0:25	0:24	12:56	38:30	188:45		22:58				5:48	1:44	257:45
令和元年度	件数	25	36	2		28	91	167		25				11	4	298
	時間	13:50	24:25	1:23		24:21	63:59	183:15		22:10				6:49	2:23	278:36
令和2年度	件数	35	42	1	2	8	88	155		37				19	1	300
	時間	16:26	23:20	1:07	1:50	8:50	51:33	179:38		31:29				9:31	0:51	273:02
令和3年度	件数	27	43	5	5	24	104	158	31	7				9	4	313
	時間	10:26	30:43	3:46	5:45	14:19	64:59	172:31	28:44	5:43				7:14	2:07	281:18
令和4年度	件数	29	36	6	3	40	114	125	23	15				17	4	298
	時間	12:14	19:26	4:00	4:15	30:16	70:11	129:00	17:15	9:47				6:26	2:30	235:09
令和5年度	件数	31	57		3	13	104	148	24	21				17	1	315
	時間	9:25	38:38		2:50	8:31	59:24	148:10	19:02	14:51				6:41	1:00	249:08
令和6年度	件数	23	32	1	6	53	115	128	16	19				25	1	304
	時間	7:47	16:18	0:41	5:42	72:06	102:34	136:42	15:19	13:08				9:46	0:36	278:05

※年間の飛行時間は300時間が限度であるが、耐空検査を年度中に実施しているため、年度合計は300時間を超える場合がある

保 安 編

第1章 高圧ガス・液化石油ガス保安

概況

高圧ガスは、エネルギー、原料ガスおよび先端技術分野における特殊材料ガスなどに利用されるなど、その活用分野は広範囲である。ただし、高圧ガスは有用な反面、高圧状態であること、さらにガスの種類によって可燃性、支燃性および毒性などの化学的な特性があるため、大規模な事故や災害を巻き起こす危険性がある。

このため、高圧ガス保安法等の関係法令に基づく許可や届出義務などによる危害予防のための規制があるほか、高圧ガス事業者および高圧ガス保安協会による自主的な保安活動を促進するための各種の講習会などを通じた保安指導を実施している。

国内全体での高圧ガスの事故は、平成30年の870件をピークに減少傾向が続いていたが、令和3年、令和4年は前年比増加した。しかし、令和5年は前年比減少であった。(令和元年683件、令和2年622件、令和3年668件、令和4年733件、令和5年693件)。

なお、内訳で最も多いのが、冷凍設備がある製造事業所での事故(令和元年306件、令和2年260件、令和3年286件、令和4年314件、令和5年291件)である。

一方、高圧ガスのうち一般消費者等への販売にかかる液化石油ガス事故については、全国で平成18年に219件(前年比+114件)と急激な増加を見せた後は年によって増減の幅はあるものの、おおむね200件前後で推移し、令和6年は速報値で218件(前年比+26件)であった。

県は、法令遵守はもとより、講習会、保安検査および立入検査などを定期または随時に実施し、高圧ガス事業者等に対する指導を行なっている。特に、液化石油ガス事業者に対しては、液化石油ガス設備の点検・調査および改善などの法令遵守ならびに事故防止対策の徹底の指導などを通じ、一般消費者等の安全・安心を推進している。

第 1 表 市町別高圧ガス関係事業所数

令和7年3月31日現在

事業所 区分	製 造 事 業 者									販 売 事 業 者(店 舗 数)									貯蔵所						特定消費事業所			オート ガス スタン ド	水 素 スタン ド	保 安 機 関	容 器 検 査 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	第 1 種				第 2 種				計	一般 (LPG 販売を 兼ねて いる者 を含む)	液化石油ガス						冷凍	計	第 1 種			第 2 種			計	一般	液化 石油 ガス					計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	一般	液化 石油 ガス	冷凍	小計	一般	液化 石油 ガス	冷凍	小計			高圧法 のみ	液石法のみ		両方		小計			一般	液化 石油 ガス	小計	一般	液化 石油 ガス	小計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
												大臣 所管	知事 所管	大臣 所管	知事 所管																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
市町																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

第2表 令和6年度高圧ガス保安法申請等状況

申請等種別		件数
製造	製造許可	4
	製造事業届	8
	製造変更許可	20
	完成検査(変更含む)	21
	保安検査	18
販売	販売事業届	24
貯蔵	貯蔵所設置許可	0
	貯蔵所設置届	4
	貯蔵所変更許可	1
	完成検査(変更含む)	2
消費	特定高圧ガス消費届	0
容器	容器検査所登録	0
	容器検査所登録更新	1
	ガス種類又は圧力の変更	1
計		104

第3表 令和6年度液化石油ガス法申請等状況

申請等種別	件数
販売事業登録	1
販売事業者登録簿謄本交付	1
販売事業者登録簿閲覧	0
販売事業者認定	1
保安機関認定	1
保安機関認定更新	112
一般消費者等増加認定	2
貯蔵施設等設置許可	2
貯蔵施設等設置変更許可	2
貯蔵施設等完成検査(変更含む)	4
充てん設備許可	0
充てん設備変更許可	0
充てん設備完成検査(変更含む)	0
充てん設備保安検査	2
計	128

第4表 令和6年度高圧ガス製造保安責任者試験実施状況

種類	受験者区分	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
		(人)	(人)	(人)	
			(A)	(B)	(B / A)
乙種化学	全科目受検者	18	16	5	31.3%
	科目免除者	7	7	7	100.0%
	計	25	23	12	52.2%
乙種機械	全科目受検者	24	20	7	35.0%
	科目免除者	2	1	1	100.0%
	計	26	21	8	38.1%
丙種化学 (液石丙化)	全科目受検者	21	20	2	10.0%
	科目免除者	20	18	15	83.3%
	計	41	38	17	44.7%
丙種化学 (特別丙化)	全科目受検者	37	31	4	12.9%
	科目免除者	17	17	10	58.8%
	計	54	48	14	29.2%
第二種 冷凍機械	全科目受検者	8	6	2	33.3%
	科目免除者	1	1	0	0.0%
	計	9	7	2	28.6%
第三種 冷凍機械	全科目受検者	43	37	11	29.7%
	科目免除者	6	6	4	66.7%
	計	49	43	15	34.9%
計	全科目受検者	151	130	31	23.8%
	科目免除者	53	50	37	74.0%
	計	204	180	68	37.8%

第5表 令和6年度高圧ガス販売主任者試験実施状況

種類	受験者 区分	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
		(人)	(人)	(人)	
			(A)	(B)	(B／A)
第一種 販売 主任者	全科目 受験者	19	19	8	42.1%
	科目 免除者	2	2	0	0.0%
	計	21	21	8	38.1%
第二種 販売 主任者	全科目 受験者	42	42	15	35.7%
	科目 免除者	24	24	19	79.2%
	計	66	66	34	51.5%
計	全科目 受験者	61	61	23	37.7%
	科目 免除者	26	26	19	73.1%
	計	87	87	42	48.3%

第6表 令和6年度液化石油ガス設備士試験実施状況

出願者	筆記試験 受験者	筆記試験 合格者	筆記試験 合格率	技能試験 受験者			技能試験 合格者	合格率
				全科目	筆記免除	計		
(人)	(人)	(人)		(人)	(人)	(人)	(人)	
	(A)	(B)	(B／A)			(C)	(D)	(D／C)
14	12	2	16.7%	2	0	2	2	100.0%

第7表 令和6年度高圧ガス関係免状交付状況

免状の種 類	製造保安責任者						販売主任者	
	乙種化学	乙種機械	丙種化学 (液石丙化)	丙種化学 (特別丙化)	第二種 冷凍機械	第三種 冷凍機械	第一種 販売	第二種 販売
交付数 (件)	13	8	20	14	2	16	8	32
再交付数 (件)	0	0	1	0	0	0	0	3
書換数 (件)	0	0	0	0	0	0	0	1
計	13	8	21	14	2	16	8	36

第8表 令和6年度液化石油ガス関係免状交付状況

交付数（件）	再交付数（件）	書換数（件）	計
18	2	7	27

第9表 令和6年高圧ガス事故発生状況

ガスの種類	事故発生日	事故発生市町	事故の概況	人的被害			原因
				死者	重傷	軽傷	
酸素	R6. 6. 23	池田町	工事現場にアセチレンガス7kg容器2本、酸素ガス7m ³ 容器2本を保管していた所、土砂災害により地盤が崩壊し、土砂と共に容器4本が工事現場から流出した。	0	0	0	土砂災害
モノシランガス・アルゴン	R6. 12. 10	小浜市	小浜工場の製造設備において配管内部清掃後の動作確認を実施した際に突然爆発した。	0	0	0	配管内部清掃メンテナンス後にアルゴンガスを流し動作確認を実施し、次にアルゴンとシランの混合ガスを流し動作確認を行ったところ爆発が起こった。
アルミ	R6. 12. 10	福井市	本線道路上に落下していた鉄製の丸パイプをトラクタ左後輪で踏んでしまった。踏み付けた反動で丸パイプが跳ね上がり、当該車両の加圧蒸発器部分に突き刺さり損傷した。損傷部から加圧蒸発器内の残ガスによる微量なガス漏れが発生した。	0	0	0	高速道路走行中落下物を踏んだことにより、配管に穴が開いた。

第10表 令和6年液化石油ガス事故発生状況

事故発生日	事故発生市町	事故の概況	人的被害			原因
			死者	重傷	軽傷	
R6. 2. 2	敦賀市	消費者発注の工事業者がバルク貯槽を破壊しガスが漏洩した。	0	0	0	消費者からガス事業者に行う旨の事前通報がなかった。

R6. 9. 18	福井市	共同住宅のバルク貯槽へ充填作業中、充填ホース先端に亀裂が入り、LPガスが漏えいした。	0	0	0	充填ホースの経年劣化
R6. 12. 5	越前市	一般住宅において、月次点検（検針）を実施していた際に、ガスメータに「BR」（微少漏えい警告）表示があったため、自記圧力計で測定したところ、配管において漏えいを確認。	0	0	0	埋設配管の腐食劣化
R6. 12. 10	福井市	一般消費者（一般住宅）からガスメータの表示が「C」（合計流量遮断）を示し、ガスが出ないとの連絡を受けたため、販売事業者が自記圧力計で測定したところ、埋設配管からガスが漏えいした。	0	0	0	埋設配管はポリエチレン管であるが、何らかの外的要因が加わったことによりガスが漏えいした。

第2章 火 薬 類 保 安

概況

火薬類は、土木、採石、鉱山等の事業に使用されているほか、身近なものではがん具煙火にいたるまで様々な種類があり、多岐にわたって利用されている。

しかし、その取扱いによっては大事故につながる恐れがあり、製造から消費にいたるまで厳しく規制を行うなど、安全性の確保が強く要求されている。

本県においては、県公安委員会との密接な連携のもとに立入検査による法の厳格かつ適切な運用を図るとともに、取り扱う者自らによる自主保安体制づくりが、事故予防上重要であることから、危害予防週間を通じ保安意識の啓蒙と普及に努めている。

また、許認可については、県では消防保安課の他、奥越農林総合事務所、嶺南振興局で行っているが、煙火および空包の許可については、平成8年度から県内各市町（消防本部）で行っている。

第1表 火薬類関係事業所等数

令和7年3月31日現在

(単位：件)

販 売 業 者	火薬・爆薬および火工品	8
	競 技 用 紙 雷 管	28
	合 計	36
火 薬 庫	1 級 火 薬 庫	13
	2 〃	0
	3 〃	2
	煙 火 〃	5
	実 包 〃	1
	合 計	21
庫外貯蔵所	販 売 業 者 所 有	14
	そ の 他 所 有	9
	合 計	23

第2表 銃砲関係事業所数

業 種	事業所数
販 売	1
製造（修理・改造のみ）および販売	3
計	4

第3表 火薬類（爆薬）の消費量の推移

（単位：t）

業種 年度	鉱山	石灰石	土木	採(砕)石	その他	合計
平成30	12	4	803	152	0	971
令和元	1	0	156	83	0	240
2	1	0	46	159	0	206
3	0	0	85	104	0	189
4	0	0	145	69	0	214
5	0	0	48	77	0	125
6	0	0	125	59	0	184

第4表 火薬類取扱および丙種火薬類製造保安責任者試験実施状況

種 別	出願者数(人)	受験者数(人) (A)	合格者(人) (B)	合格率(%) (B/A)
甲 種	46	44	24	54. 5
乙 種	12	11	5	45. 5
丙 種	0	0	0	0. 0
計	58	55	29	52. 7
会場：9月1日（日）福井県建設会館				

第5表 令和6年度火薬類保安講習関係講習会実施状況

講 習 会 名	回 数(回)	受講者数(人)
火薬類取扱者再教育・保安教育講習会	6	187
火薬類取扱保安責任者養成講習会	1	22
煙 火 消 費 保 安 講 習 会	1	102

第6表 令和6年度火薬類許可申請等の状況

(1) 県許可申請等

区 分	種 別		件 数 (件)
消防保安課	譲 受	火工品のみ	0
		25kg 以下	0
		上 記 以 外	17
	譲 渡		3
	火 薬 庫 設 置		0
	火 薬 庫 変 更		0
	火薬庫完成検査（設置）		0
	〃 （変更）		0
	火 薬 庫 保 安 検 査		9
	免 状 交 付		30
	免 状 再 交 付		2
	販 売 営 業		1
	計		62
	奥越農林 総合事務所	譲 受	火工品のみ
25kg 以下			0
上 記 以 外			16
譲 渡		3	
計		19	
嶺南振興局 企画振興室 若狭	譲 受	火工品のみ	0
		25kg 以下	1
		上 記 以 外	2
	譲 渡		0
	計		3
嶺南振興局 企画振興室 二州	譲 受	火工品のみ	1
		25kg 以下	0
		上 記 以 外	2
	譲 渡		3
	計		6
合 計			90

(2) 市町許可申請等

消防本部名	区分	種 別			件 数
		煙火消費	空包譲受	空包譲渡	
福 井 市		11	0	0	11
大 野 市		2	0	0	2
勝 山 市		4	0	0	4
永 平 寺 町		1	0	0	1
嶺 北 消 防 組 合		5	0	0	5
鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合		4	0	0	4
南 越 消 防 組 合		9	0	0	9
敦 賀 美 方 消 防 組 合		6	0	0	6
若 狭 消 防 組 合		9	0	0	9
計		51	0	0	51

第 7 表 令和 6 年度事故発生状況

発生日	発生場所	区分	状況	被害	原因
R6. 8. 20	福井県 大飯郡 高浜町	煙火	花火大会にて 1 0 号水中煙火 1 発と 2 . 5 号打揚煙火 1 発が黒玉となった。	人的：なし 物的：なし	水中煙火を導火線への未着火の状態 で投げ込んだため。 打揚煙火の製造および打揚工程に不備は無かったと思われるが、原因については不明である。

